

平成23年度

自己評価アンケート調査報告書

山梨県立大学自己点検評価委員会

平成24年6月28日

「平成23年度自己評価アンケート調査報告書」

発刊にあたり

自己点検評価委員会委員長

伊 藤 洋

山梨県立大学における「自己点検・評価」の歴史の中で、平成23年度は画期となった。それというのも、この年度ほぼ全期間をかけて法定の外部認証機関による認証評価を受審したからである。すなわち、年初から7月開始の書面審査に向けて提出書類の作成に係る膨大な作業をすすめ、10月の訪問調査までの間は、審査機関からの追加資料の請求に対応し、最終的に平成24年3月29日に「適」の評価を受けるまで、大学組織としての「通過儀礼」を完全にこなしてきたのである。これによって、本学の自己評価機能は一応初等的段階をクリアしたと言ってよいのかもしれない。

しかし、評価は、PDCAサイクルによって上昇しながら「改革・改善」につながる正のスパイラルをもって定着すべきものであることからすれば、これは未だようやく緒についたばかりというべきである。自己評価が、点検されたすべてのチェックポイントで定常的に「改善」が確認されたときはじめて完成と言えるのであろう。その意味で、引き続き平成24年度の自己評価も「定点観測」の意味を込めて平成17年度以降のチェックポイントを中心にその上昇スパイラルを点検することとしてすでに出発しているところである。

本書は、平成24年3月31日を期末とする「平成23年度自己評価アンケート報告書」である。これを発刊・公表し、学外の批判に晒すと共に全学的に問題点を共有し、今後の「カイゼン」活動の礎とするためのものである。

ところで、ここへきて国内世論の大学への風向きが大きく変化し始めてきた。「失われた20年」と言われるような長期にわたる経済的・文化的・社会的停滞感の一因を大学に求める極論から、この状態からの脱却について大学に期待する論までさまざまな意見が巻き起こっている。これに応じて文部科学省は6月『大学改革実行プラン～社会の変革のエンジンとなる大学づくり～』を発表した。今後、我が国の大学は大きな変革の波にさらされることであろう。こういう時代変化の中では、チェックすべき主題もまた変革を余儀なくされると考えなくてはならない。今年度は、そのための準備も急がれることになるであろう。

ともあれ、山梨県立大学自己評価アンケート調査にご協力いただいた学生、教職員、卒業生、保護者、卒業生就職先関係者各位に深甚の謝意を表するとともに、今後とも、本学の教育・研究・社会貢献活動に忌憚の無いご意見をお寄せ頂けるようお願い申し上げます。

目 次

I 平成23年度自己評価アンケート調査の概要

1. 学部
2. 看護学研究科

II 学部アンケート調査

1. 学生自己評価アンケート調査
2. 卒業生自己評価アンケート調査
3. 教職員自己評価アンケート調査
4. 保護者アンケート調査
5. 同窓会アンケート調査
6. 卒業生就職先調査

III 看護学研究科アンケート調査

1. 研究科学生 自己評価アンケート調査
2. 研究科担当教員 自己評価アンケート調査

IV 自己評価アンケート調査にみられる課題

1. 学部
2. 看護学研究科

V まとめ

1. 学部
2. 看護学研究科

資 料

資料1	学生自己評価アンケート調査結果
資料2	卒業生自己評価アンケート調査結果
資料3	教職員自己評価アンケート調査結果
資料4	入学生保護者アンケート調査結果
資料5	卒業生保護者アンケート調査結果
資料6	同窓会アンケート調査結果
資料7	卒業生就職先調査結果
資料8	看護学研究科 学生自己評価アンケート調査結果
資料9	看護学研究科 教員自己評価アンケート調査結果

I. 平成23年度自己評価アンケート調査の概要

1.学部

(1)目的

平成23年度自己評価アンケート調査は、平成21年度および平成22年度のアンケート調査に引き続き、今後の本学の運営の参考とするために実施された。

(2)実施手順、実施体制

平成23年度自己評価アンケート調査は、自己点検評価委員会内に新たに設置されたアンケート部会が実施主体となり、平成23年度自己点検評価委員会と学部、学科の連携により実施された。

(3)調査対象、調査時期、調査方法

調査対象は、在学生、卒業生（卒業時）、教職員、本学保護者（入学時、卒業時）、同窓会員、卒業生就職先とした。

調査時期は、平成24年1月から平成24年3月、一部4月初旬である。

調査方法は自記式とし、調査用紙の配布・回収を同時に行う集合調査、および後日回収する留め置き調査の併用とした。また、卒業生就職先を対象とした調査については、卒業生就職先を訪問、調査票に基づいたヒアリング等を実施、あるいは調査票を郵便もしくは電子メールを通して配布・回収した。

(4)調査項目

本アンケート調査項目は、「平成23年度実施分大学評価基準及び選択的評価事項の分析に当たっての留意点等について」に基づき、平成23年度自己評価委員会において検討した案をもとに決定した。このことにより、本アンケート調査は、大学評価基準に対応して必要とされる自己点検評価や授業改善等のための調査となっている。

さらに本アンケート調査項目は、平成22年度の調査項目をほぼ踏襲しており、これにより、両年度間での比較が可能となった。

本学では別途、各学部、部局、委員会等の自己評価、教育の質改善のための調査が実施されている。本アンケート調査の内容は、これらの調査との重複を避ける内容となっている。

(5)実施概要（対象者数、回収率）と集計結果

学生、教職員対象の調査実施概要は表1のとおりである。また、その他の調査対象については、本文中に概要を記述した。回収された調査票のデータを、全学、学科別に集計し、その割合を求め、分析した。自由記述については、別途とりまとめ、分析し、本報告書にその概要を記述した。

2.看護学研究科

(1)目的

看護学研究科の平成23年度自己評価アンケート調査は、平成22年度まで研究科が実施してきた自己評価アンケート調査結果を踏まえ、今後の研究科の運営の参考とするために実施した。

(2)実施手順、実施体制

看護学研究科では、これまで研究科独自で自己評価のためのアンケート調査を実施してきた経緯がある。今年度は、学部の平成23年度自己評価アンケート調査と可能な限り足並みを揃え、研究科自己評価委員会が実施主体となり、研究科との連携により実施した。

(3)調査対象、調査時期、調査方法

今年度の調査対象は、看護学研究科学生、同研究科担当教員のみとした。
調査時期は平成24年1月である。調査方法は自記式とし、留め置き調査とした。

(4)調査項目

本アンケート調査項目は、平成22年度の学部自己評価のためのアンケート調査項目の内容を参考とし、研究科用に調査項目を設定した。

(5)実施概要(対象者数、回収率)と集計結果

看護学研究科学生、教員対象の調査概要は、学部と同様表1に示した。
集計については項目ごとに単純集計を行い、また自由記述については別途まとめ分析し、本報告書にその概要を記述した。

表1 平成23年度自己評価アンケート調査実施概要（学生・教職員対象）

学 部 ・ 学 科 等		対象者数(人)	回答者数 (人)	回収率 (%)	
●学部生対象アンケート調査					
国 際 政 策 学 部	総合政策学科	(1年)	44	36	81.8
		(2年)	48	20	41.7
		(3年)	45	21	46.7
		(4年)	48	33	68.8
	小計		185	110	59.5
	国際コミュニケーション学科	(1年)	51	49	96.1
		(2年)	45	31	68.9
		(3年)	46	37	80.4
		(4年)	45	18	40.0
	小計		187	135	72.2
人 間 福 祉 学 部	福祉コミュニティ学科	(1年)	71	57	80.3
		(2年)	64	55	85.9
		(3年)	69	59	85.5
		(4年)	63	22	34.9
	小計		267	193	72.3
	人間形成学科	(1年)	23	21	91.3
		(2年)	25	23	92.0
		(3年)	22	22	100.0
小計		92	88	95.7	
看 護 学 部		(1年)	100	70	70.0
		(2年)	108	68	63.0
		(3年)	95	82	86.3
		(4年)	102	78	76.5
	計		405	298	73.6
	学年不明	—	1	—	
計		405	299	73.8	
学部生	総計		1136	825	72.6
●看護学研究科学生対象アンケート調査					
研 究 科		(1年)	8	5	62.5
		(2年)	15	10	66.7
	計		23	15	65.2
●卒業時生アンケート調査					
	総合政策学科		48	25	52.1
	国際コミュニケーション学科		45	16	35.6
	福祉コミュニティ学科		63	22	34.9
	人間形成学科		22	21	95.5
	看護学部		102	78	76.5
	計		280	162	57.9
●教職員対象アンケート調査					
	国際政策学部		31	18	58.1
	人間福祉学部		24	12	50.0
	看護学部		55	37	67.3
	事務局				
	飯田キャンパス (役員含む)		33	21	63.6
	池田キャンパス		20	10	50.0
	計		163	98	60.1
	(所属記載なしの回答)		—	4	—
	総計		163	102	62.6
●看護学研究科教職員対象アンケート					
	看護学研究科		33	17	51.5

Ⅱ. 学部アンケート調査

1. 学生自己評価アンケート調査

(1) 大学の目的等について

大学の目的等について、「大学の目的について、大学シラバス・HP等で今までに読んだことがある」と回答した学生は全学で80.0%、「卒業要件について知っている」学生は75.8%、「成績評価が適切に行われていると思っている」学生は87.0%であった。いずれの数値も昨年度を上回っており、「大学の目的」等について、概ね周知されていた。しかしながら、今年度は学科による違いが若干生じており、ことに看護学科では「卒業要件について知っている」学生は63.5%と低い数値が示された。

(2) オリエンテーションやガイダンスについて

「学年当初に実施されるオリエンテーションやガイダンスが履修の役にたったか」について、全学で94.3%の学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答し、オリエンテーションの有効性が示された。

自由記述「オリエンテーションやガイダンスに関する意見・要望」について、国際政策学部では、肯定的な意見は3件だった。「話が長すぎる」「必要のないガイダンスがたくさんあった」という意見や、「個別相談などをもっとしてほしい」「教職についてもっと詳しく説明してほしい」「予定通知が不十分、工夫してほしい」などの要望が8件あった。人間福祉学部では、2件の肯定的な意見のほか、履修登録や教科などについて詳しい説明を求める要望（4件）、実施時期や時間が長すぎることにに対する意見（3件）、抽選科目の対応への不満（2件）、シラバスに対する意見（2件）、先輩からの情報を求める要望（2件）などが出された。看護学部においては、肯定的な意見は2件だった。分かり易い説明や資料を求める意見（3件）、「先輩に話を聞けると良い」など先輩からのアドバイスを求める意見（3件）のほか、「進学・就職に役に立つものを増やしてほしい」という要望も出ている。これらの要望等は学生数に対し少ないが、今後のオリエンテーションの実施に際し参考となるものである。

(3) 学習支援について

「学習を進める上で、担任やチューター教員、科目教員への相談が必要な時に得られたか」について、全学で79.5%の学生が、「そう思う」「ややそう思う」と回答した。本学の学生支援体制については概ね学生に支持されていると判断される。

自由記述「本学での相談・援助などの学習支援に関する意見・要望」について、記述数はごく少数であった。国際政策学部では、担任の役割に関する意見（2件）、教員について「研究室にいる時間を増やしてほしい」（2件）、「資格についての相談、助言制度が欲しい」（2件）等の要望があった。人間福祉学部では、「クラス担任との関わりがあまりない」（3件）、「キャリアサポートセンターの相談員の数を増やしてほしい」等の意見があった。看護学部においては、チューター制度について「本当に良い」（2件）とする意見とともに、「活用されていない」「チューターによって差があると感じる」（5件）等の記述も見られた。さらに看護学部教員について、「学校にいても会議で相談できないことが何回もあった」「夜遅くまで残っていて大変そうだ」と教員の多忙さを指摘する記述もあった。

(4)自主学習について

「自主学習スペースは十分だと思いますか」という質問に対して、「そう思う」「ややそう思う」と回答した学生は52.4%で、前年度(45.4%)を上回った。学部別にみると、看護学部においては、「そう思う」「ややそう思う」と答えた学生が前年度はほぼ半数であったが、今年度は64.9%となった。国際政策学部と人間福祉学部においては40~50%(前年度30~45%)にとどまった。また、「コンピュータの利用環境に満足していますか」という質問に対し、「そう思う」「ややそう思う」と答えた学生は全学で62.2%となり、前年度(43.9%)を約20ポイント上回る数値を示した。

自由記述「自主学習環境についてどう思うか」について、平成23年10月のPC更新により、全学で「新しい機種に替わり、満足している」等の肯定的意見(11件)が述べられ、平成23年度の学習環境整備の成果が示された。しかし、飯田キャンパスにおいてはPCに対して「起動が遅い」「台数が少ない」等の意見が56件、プリンタに関して「調子が悪い」「台数が少ない」等の意見が18件、その他、「情報教室、CALL教室の土日、休日利用と利用時間延長」等、利用場所と利用時間に関する意見が39件あった。池田キャンパスにおいても、同様にPCについて計25件の意見が出ている。平成22年度自己評価アンケート調査の結果と比較して、自由記述の件数は少なくなったものの、学生のPC環境の充実に関する要望は多く、引き続き改善が必要であることが明らかとなった。

さらに、図書館の開館時間の延長や土日、休日の開館の要望が飯田キャンパスでは30件、池田キャンパスでは16件あった。自主学習スペースの拡張を求める要望は飯田キャンパスでは29件、池田キャンパスでは20件ほど記述されていた。これに加えて、飯田キャンパスではカフェの拡張や開放時間の延長を求める記述が11件、池田キャンパスでは「夜食べて、息抜きができる場所が欲しい、時間延長を希望」(3件)もあった。

(5)生活支援について

「生活支援(健康・生活・進路・各種ハラスメント)等に関する学生相談・助言体制が充実していると思いますか」という質問に対して、「そう思う」「ややそう思う」との回答は全学で82.5%であり、概ね学生の満足が得られている状況が示された。

(6)施設設備について

「学生便覧、各種施設設備の利用案内等をとおして、本学の施設・設備の運用・管理について知っていますか」という質問に、「そう思う」「ややそう思う」との回答は全学で61.2%と大半の学生に周知されているものの、さらに周知の方策が必要であると判断される。また、「教室の設備について満足していますか」については、72.4%の学生が「満足」「やや満足」と答えた。「ICT関係施設、設備、ネットワーク環境については」、73.6%の学生が「満足」「やや満足」と回答した。

(7)授業の質の向上や改善に向けての要望

自由記述「授業の質の向上や改善に向けての要望」について、学部別に意見を分析した。国際政策学部においては、授業改善(12件)や科目希望(7件)の要望があった。「自宅または自分のPCから授業登録、証明申請できるようにしてほしい」(6件)、「自宅で情報公開

システム、成績が見たい」(2件)とネット環境の利便性向上を求める声もあった。また施設・設備に関しては、「受講生数にあった教室設定をしてほしい」(3件)や「マイク・音響やプロジェクターの環境を整備してほしい」(2件)、そして冷暖房の不調や利用期間についての不満(6件)が記述されていた。人間福祉学部では、授業改善(7件)のほか、「単位数も自宅PCで見たい」(8件)、「授業人数にあった教室設定をしてほしい」(7件)などの要望が出ていた。また「マイク・音響やプロジェクターの環境を整備してほしい」(5件)やプロジェクター等の使用マニュアルの各教室配備(4件)の要望があった。看護学部では、授業改善の要望が8件あった。成績評価については、「先生同士でもっとテストに関する考えを統一し、平等な評価をしてほしい」(4件)との記述がみられた。施設・設備については、冷暖房に関する不満が6件あった。

このように、授業改善の要望が出されているほか、施設設備については、冷暖房に対する不満が多く、さらに機器の整備と適正な教室設定が求められている。

(8)国際政策学部・人間福祉学部で検討されている大学院設置について

大学院進学への関心の有無についての質問項目を設け、回答を得た。その結果、国際政策学部系の大学院の進学への関心について、全学で12.1%の学生が、「ある」「ややある」と回答した。特に総合政策学科では26.3%、国際コミュニケーション学科では29.7%が、「ある」「ややある」と答えた。人間福祉学部系の大学院については全学で15.7%の学生が、関心が「ある」「ややある」と回答した。福祉コミュニティ学科では33.7%、人間形成学科では39.8%の学生が、関心が「ある」「ややある」と答えた。

このように、所属する学部に関連した大学院設置について、約3割の学生が関心をもっていることが明らかとなった。大学院進学に関心が「ある」「ややある」と回答した人は「どのようなことを学びたいか」という自由記述には、国際政策学部では「国際関係の分野」(9件)、「語学および言語学」(7件)、「日本語」(3件)、「日本語教育」(4件)等の回答があった。人間福祉学部では、「心理学系」(11件)、「保育学系」(9件)、「福祉および福祉政策」(9件)、「教育関係」(6件)などが多かった。

2.卒業生自己評価アンケート

平成24年3月卒業予定の4年次生を対象として、平成24年2月に、卒業生自己評価アンケートを実施した。

(1)本学で受けた教育の有効性について、4段階評定で回答してもらった。

「人格形成」において有効であったと思うかとの設問に対して、全学で「そう思う」「ややそう思う」と回答したのは91.3%、「豊かな教養」については87.1%、「人間関係形成(協調性・コミュニケーション)」は95.7%、「問題や課題の克服・意欲」は92.6%、そして「今後の自己成長」は97.6%であった。ここに教育の有効性を認めるきわめて高い数値が示された。福祉コミュニティ学科、人間形成学科、看護学科の3学科においては、ほぼすべての項目で「そう思う」「ややそう思う」の回答が90%以上の数値だった。ここで「そう思う」と評価した数値に着目すると、福祉コミュニティ学科では「ややそう思う」と回答した割合の方が高いが、人間形成学科と看護学科においては、各項目において「そう思う」の回答が約55%から86%を占め、より積極的に有効性を認めていたことが分かる。これに対し、

総合政策学科と国際コミュニケーション学科の教育の評価は相対的に低かった。特に国際コミュニケーション学科では「人格形成」「豊かな教養」の2項目が60%台に留まった。

自由記述「その他、4年間で受けた教育の中で、有効であった点」については、飯田キャンパスでは少人数授業(6件)、プレゼンテーション(3件)、実習(3件)、課外活動(3件)、ゼミ(4件)などが挙げられた。「山梨県立大学の教育の質の向上のため」の意見には7件の回答があった。池田キャンパスでは、「その他、4年間で受けた教育の中で、有効であった点」については、「人間関係論」(5件)と「受容する力」や「人としての生き方」に代表されるような人間性に関わる項目(8件)が多かった。「山梨県立大学の教育の質の向上のため」の意見としては、「部活(医療系)の充実」が挙げられたのみであった。

(2)卒業生(卒業直前の4年生)に、大学院進学に対する関心の有無を4段階評価で尋ねた。

「国際政策部系の大学院への進学に関心がありますか」に対して、「ある」「ややある」と答えたのは全学で8.0%、総合政策学科では36.0%、国際コミュニケーション学科では6.3%だった。「人間福祉学部系の大学院への進学」への関心は全学では11.1%、福祉コミュニティ学科は40.9%、人間形成学科は19.0%が「ある」「ややある」と回答した。「看護学部系大学院への進学」については、全学の23.5%が「ある」「ややある」と回答し、「本学看護研究科への進学」に対しては全学の17.3%が「ある」「ややある」と回答した。看護学科に特化すると、「看護学部系大学院への進学」については、「ある」「ややある」と回答したものが43.6%、「本学看護研究科への進学」に対しては30.8%が「ある」「ややある」と回答した。

(3)大学院進学に対して関心が「ある」「ややある」を選んだ回答者に「どのようなことを

学びたいですか」と自由記述で尋ねたところ、飯田キャンパスでは「政策形成」等の社会系科目が4件、「観光心理学」等の人文系科目が3件、「SW技術」等の福祉系の科目が6件、その他に「教職関係」「大学の延長上」が記載されていた。池田キャンパスでは「地域看護学」(2件)をはじめとする看護学科目が6種類、「専門看護師・認定看護師」(2件)、その他に「働いてみてからの自分の興味分野」(3件)があった。

3.教職員自己評価アンケート調査

(1)各設問への回答について

大学の目的等の周知に関して、「大学の目的について、大学案内・シラバス・HP等で学んだことがありますか」という質問に95.9%の教職員が「はい」と答えた。この回答率は極めて高く、「大学の目的等の周知」について十分な対応が行われていると判断される。施設・設備に関して、「あなたは学生便覧、各施設・設備の利用案内を通して、本学の施設・設備の運用管理について知っていますか」という質問には、89.8%の教職員が「そう思う」「ややそう思う」と回答した。ほぼ9割であり、施設・設備の運用管理について十分周知されていた。

大学の運営に関して、「個人の意見を大学の運営に反映させる仕組みがあると思いますか」という質問に、「そう思う」「ややそう思う」と回答した教職員は51%であった。これを所属別にみると、国際政策学部教員では55.6%、人間福祉学部教員は75.0%、看護学部教

員は56.7%なのに対し、事務局職員は32.3%と低い数値が示された。学部運営に関して、「学部運営に関する個人の意見を会議等で出せていると思いますか」という教員を対象とした質問に対する、「そう思う」「ややそう思う」との回答は、全学で67.2%であり、半数を下回っていた前回に比べ、高くなっている。とはいえ学部別の数値に着目すると、国際政策学部教員は83.3%、人間福祉学部教員は91.7%と高い数値なのに、看護学部教員は51.3%と半数程度にとどまった。

「他の教職員の活動状況を知る機会がありますか」という質問に、「そう思う」「ややそう思う」との回答は全教職員で43.9%と半数を下回り、国際政策学部教員では61.1%、人間福祉学部教員は66.7%、看護学部教員は45.9%、事務局職員は22.6%と所属によってばらつく数値となった。「ほかの委員会の活動状況を知る機会がありますか」という質問に、「そう思う」「ややそう思う」との回答は全教職員で46.9%であった。これらの回答を所属別にみると、事務局職員は19.4%にとどまっているのに対し、国際政策学部教員では55.6%、人間福祉学部教員は50%、看護学部教員は64.8%であった。各学部教授会における委員会活動報告、山梨県立大学CMSによる委員会等の議事録、資料等の共有等の成果と考えられる。

「アドミッションポリシーに沿った入試を実施していると思いますか」という質問に対し、「そう思う」「ややそう思う」との回答は、国際政策学部100%、人間福祉学部91.7%、看護学部83.7%、事務局職員80.7%であり、平成22年度よりいずれも高くなっている。

(2)自由記述回答について

回答が自由記述となっている設問に対し、数多くの意見が寄せられた。

①運動場・体育館・講義室等の施設・設備

「運動場・体育館・講義室等の施設・設備について、現在困っていること、改善を要望することはありますか」とついて、飯田、池田のキャンパス教員、職員別に分析した。

飯田キャンパスの教員から、講義室等の設備について「教室の防音性を高めるべき」(3件)ほか、「机・椅子をキャスター付きにしてほしい」「教壇の設置」「暗幕の設置」「ブラインドの交換・修理」「福祉実習室の不備」等の要望があった。視聴覚機器に関して、「講義室配備のプロジェクター等の拡充」(2件)のほか、「設備(AV機器、プロジェクタ等)の統一」「ブルーレイ・ディスクプレイヤーの配備」「実習室へのマイク配備」「C101教室のマイク調整」「維持管理の必要(マイク用電池の管理、黒板チョークの補充、黒板消しをきれいに)」という意見があった。教室について、「時間割に応じた適切な教室の確保」(2件)のほか、「ゼミ室が少ない」「学生指導する部屋が少なく、支障をきたしている」という意見があった。体育館については「拡張(クラブ活動に支障が生じている)」「冷暖房の設置」「新しいプレイヤーの据え置き場所が使いにくい」「体育館倉庫に施錠できるロッカーがほしい」「掃除が行き届かないので、もっと頻繁に業者に清掃をお願いしたい」など具体的要望が出された。その他、「学生用ロッカーの設置」「カフェテリアの拡張」「全施設が狭い」「早急な学務システムの構築」等の要望があった。

飯田キャンパスの職員の要望として、講義室等について「プロジェクターが壊れているところが多い」「プロジェクター・スクリーンをある程度の規模(定員20名以上)の全教室につけたらどうか」という意見が出された。図書館については「冷暖房設備の改善」「エレベーターの設置」「トイレの整備」の要望があった。また、駐車場について「学生の違反駐

車」「マナーの悪い駐輪（特に掲示板前と駐車場前）」「教職員用駐車場が暗い」「大きな車を停めない方がよい場所の指定」「駐車スペースではないところに駐車している教員がいる」等の意見が寄せられた。施設管理として、「施設の電子予約ができるようにしてほしい」「講義室の清掃が不十分」「学内掲示物のルール作り」が挙げられた。その他、「冷暖房機の不調」（3件）の他、「全体的に大学が寒い」「もう少し、学生の居場所となるところがあると良いと思う」「喫煙が目立つ」「災害時の備蓄食料、飲料水とそれを保管する倉庫を整備すべき」「教室にごみが落ちているのが目につく（特にC101）」などの意見があった。

池田キャンパスの教員においては、講義室等の設備について「トイレの改善」（4件）、「講義室が少なく、大人数だと狭い」（2件）、「研究室内の設備の不備」（2件）、「図書館入口前の空間の環境の整備」（2件）、「冷暖房の不具合の改善・管理」（4件）、「講義室等のブラインドの不具合」（4件）、「設備の老朽化に伴う改善」（2件）、「大学のバリアフリー化」（4件）、その他、「学食がない」「通路に屋根の設置」「ピロティが滑りやすく危険」「101、201、301教室の窓が小さいので、大きく開く窓に替えた方がよい」という要望が出された。

情報機器については「さらなる情報システムの導入」（2件）、「その他情報関係、情報機器の改善」（2件）あり、「教育環境改善のための物品」（6件）の要望もあった。また、「施設の開閉時間、出入口の工夫」（4件）、「教員の業務改善（3件）」「施設内の清潔環境の保持」（3件）、「大学周囲の交通安全及び大学内の安全対策」（3件）、その他、「5号館の新しい実習室の管理方法を工夫」の要望があった。

池田キャンパスの職員からは、冷暖房の不備を含む「設備の不具合、環境の改善」（4件）の要望があった。

②職務を遂行するうえでのスキルアップ

「職務遂行のうえでどのようなスキルアップのための研修会に参加したいか」について、飯田、池田のキャンパス教員、職員別に分析した。

飯田キャンパスの教員では、FD・SDについての研修（5件）、IT関連、語学、会議の効率化などのスキルアップ研修（3件）、研修体制に関する意見（2件）などがあった。

飯田キャンパスの職員からは、スキルアップとして「接遇・電話対応」「マナー」「大学事務（学務、教務、公立大学法人会計等の事務）」（各2件）の他、具体的な職務に関する研修の要望が14件あった。また、「必要に応じて勉強し、研修会に出席している」という意見もあった。

池田キャンパスの教員では、「実際に現場に出向いての実践研修」（4件）、「研修時間・予算の確保」（4件）、「統計処理・解析」（2件）、「教育方法」（2件）、「学会・専門領域研修会への参加」（2件）の他、今後求められる研修内容として「資格の取れる研修会」「経営的なセンスや知識についての研修会」「メンタルヘルス」（各1件）があった。また、職員からは「医学の基礎知識講座等」（1件）の研修会の要望が出された。

③本学における教育改善・教職員の資質向上

「本学における教育改善・教職員の資質向上のための活動（FD・SD）やその実施体制について望むこと」について、数多くの意見が出された。

国際政策学部、人間福祉学部の教員において、「FD・SDのあり方」について4件、「研修

の「日時・回数」について2件、「研修内容」について2件、「全教員参加」1件、その他「特になし」4件、「リーダーシップを発揮してほしい」「企画・実施への感謝」各1件の意見があった。「FD・SDのあり方」については、「SDの定期的な実施と事務職の支援体制強化」「教員間の意見交換」「教養教育だけのFDの見直し」「効果検証と開催の見直し」等の要望があった。「研修の日時・回数」については、「研修会回数を減らす」「実施時間の短縮化」等の意見があった。「研修内容」では、「内容の厳選」「授業参観プログラムの充実」等の提案があった。

飯田キャンパスの職員からは、「FD・SDのあり方」について、「体系的取組」「定期的実施」「教職員合同の研修会」等の要望が出された。また、「参加率が低い」「時間設定への配慮」「法人固有の職員の県研修所利用」等の意見があった。

看護学部の教員においては、「FD・SDのあり方」について6件、「研修の日時・回数」について5件、「研修内容」について4件、「全教員の参加」2件、「参加・不参加状況の公開」「研究日が取れない」各1件があった。また、「企画・実施への感謝」も3件あった。特に、「FDのあり方」について「学部を超えた合同FDの充実」（4件）の他、「教職員間の意見交換」「個人の研修をFDとしてカウント」などの具体的要望が提案された。また、「研修内容」として「教員の倫理観」（2件）も挙げられていた。

また、池田キャンパス職員からは「教職員間の業務量の差」、「教職員評価の必要性」を指摘する自由記述が寄せられた。

④その他、本学の管理・運営

「その他、本学の管理・運営に関して、意見要望」という設問に対しても多くの意見があった。

全教員では「大学運営」について19件、「人的管理」16件、「業務の在り方」17件の意見があった。「大学運営」については、「事務職員の増員」（3件）「入試、教務へのプロパー職員の配置」（2件）「日本や世界に発信できる大学作りのための人材確保と組織体制の検討」等、人的配置による大学運営の見直しについて強い要望があった。「人的管理」については、「教員のメンタルヘルスへのサポートシステムの構築」（4件）「管理職の職務の遂行と責任」（3件）「パワーハラスメントへの対応」（2件）等への意見があり、「若手教員の学外研修への積極的派遣と選考基準の明確化」等の具体的要望もあった。「業務のあり方」については、昨年度と同様に、「研究時間の確保」「会議の効率化、時間帯の改善」「業務量の公平化」が求められていた。

全職員からは、「大学運営」について「事務トップ、事務職員間とのコミュニケーション不足」（2件）「各課担当の見直し」「計画的な職員体制、人員配置、人材育成」等、計6件の意見があった。「人的管理」については4件あり、「業務配分が不平等、不適切」という意見や「役員、全教職員のフォームの揃ったデータベース」等の提案があった。

4.保護者アンケート調査

(1)入学生保護者

本学の教育や制度に対する期待について10項目、および国際政策学部系、人間福祉学部系の大学院設置に対する期待について2項目を、「期待している」「わからない」「期待していない」の3段階評定により調査した。その結果、「一般教育（教養）の教育の充実」「専門分野の教育の充実」「人間関係形成・人格形成のための教育の充実」「就職・進学指導の充実」の4項目で約90%が期待していると回答し、「国際交流・留学制度の充実」「教育施設・設備の充実」「授業料減免制度の充実」「大学独自の奨学金制度の充実」「成績通知の充実」の5項目で60～70%が期待していると回答した。「リカレント教育の充実」は54%であった。

自由記載では、「困難な社会を生きていく力の養成」「高水準の教育」「学生のためのよい環境づくり」など教育・環境への意見が16件、「就職支援」「心身の健康面への支援」が2件記載された。また、「入学金が高額」「入学式での保護者席の明示」などの要望も3件、入学式、後援会の説明について3件あった。

国際政策学部系大学院設置への期待は、総合政策学科・国際コミュニケーション学科で約4割であった。また、人間福祉学部系大学院については、福祉コミュニティ学科・人間形成学科では約6割であった。大学院設置に関する自由記載はなかった。

以上のことから、入学生保護者は、教育内容、就職支援への期待が大きく、次いで国際交流や教育施設、授業料減免や奨学金制度、成績通知への期待を持っていた。また、国際政策学部系・人間福祉学部系大学院設置への期待は大きいという結果であった。

(2)卒業生保護者

本学の教育や制度に関する7項目、および国際政策学部系、人間福祉学部系の大学院設置に関する2項目について、「期待している」「わからない」「期待していない」の3段階評定により調査した。その結果、「期待している」が「専門分野の教育の充実」「就職・進学指導の充実」の2項目で80%を超え、「教育施設・設備の充実」が74.0%であった。また、「一般教養の教育の充実」「人間関係形成・人格形成のための教育の充実」の2項目が約70%、「国際交流・留学制度の充実」で約50%が期待しているとした。「リカレント教育の充実」は46.8%であった。大学院設置については、国際政策学部で約8割、人間福祉学部で約6割と高い期待値を示した。

自由記載では、「親身な指導、きめ細かい指導」「評判の良い大学」「充実した4年間だった」など指導等を評価する意見が6件、「4年間の指導への感謝」が7件、「社会人としての姿勢と意欲を高めるカリキュラム」「ボランティア活動」「学生への指導力」「学業以外での充実した学生生活への工夫」などの要望7件、「保護者への成績通知」や「会報の通知」などの情報提供への要望が2件、その他卒業式に関する意見が3件あった。

以上のことから、卒業生保護者は、教育内容の充実、教育施設の充実、就職支援への期待が大きかった。また、4年間の教育指導を評価する意見とともに、保護者への情報提供への要望が述べられた。

5.同窓会アンケート調査

(1)富桜会

本会は、本学国際政策学部、人間福祉学部の卒業生、前身の山梨県立女子短期大学の卒業生で組織されている。同様に3段階評定で調査したところ、「一般教養教育の充実」「専門分野の教育の充実」「人間関係形成・人格形成のための教育の充実」「国際交流・留学制度の充実」「教育施設・設備の充実」「就職・進学指導の充実」「リカレント教育の充実」のすべての項目において、80%以上が期待していると回答した。特に「就職・進学指導の充実」への期待は、100%であった。大学院設置に関しては、国際政策学部系に対しては59.3%、人間福祉学部系に対しては66.7%が期待していると回答した。自由記載では、「リカレント教育の充実」を期待する声が3件、「県立大学・大学教育の社会や県民への周知」への要望(2件)があった。

(2)白樹会

本会は、本学看護学部、山梨県立看護大学、山梨県立看護大学短期大学部、山梨県立看護短期大学、および山梨県立高等看護学院の卒業生で構成されている。「一般教養教育の充実」「専門分野の教育の充実」「人間関係形成・人格形成のための教育の充実」「教育施設・設備の充実」「就職・進学指導の充実」「リカレント教育の充実」の6項目において、80%以上が期待していると回答した。特に「専門分野の教育の充実」への期待は100%であった。

「国際交流・留学制度の充実」への期待は66.7%であった。自由記載では、「在学生への同窓会や同窓会活動への関心の喚起」を要望する意見があった(2件)。また、「同窓会として母校への協力」を推進していきたいとする意見もあった(1件)。

6.卒業生就職先調査

本調査は、就職先の施設・事業所を訪問し調査票に基づき聞き取りを実施する方法、郵送もしくは電子メールを通して調査票を配布・回収する方法の、いずれかの方法で実施した。調査票(15件)のデータをとりまとめ、分析した。

卒業生就職先を対象に、本学の卒業生に対する評価を6項目について4段階評定で調査した。昨年度は「専門的知識・技術」と「豊かな教養」の2項目については、「評価できる」「やや評価できる」との回答は約60%にとどまっていたが、今年度は各項目において、ほとんどの就職先(80%以上)が「評価できる」「やや評価できる」と回答し、さらに良い評価が得られた。

また、本学の教育への期待感について6項目を設け4段階評定で聞いた。ほぼすべての就職先が各項目に対し「期待する」「やや期待する」と回答し、本学への期待感は非常に高かった。昨年度、約9割の就職先で期待されていた項目が「実践能力向上のための教育」のみだったことを考えると、全体的に本学への期待が大きくなったといえる。

自由記述には、「勤勉、真面目」「積極的で探究心が旺盛」等の卒業生への評価が記載されるとともに、「(一般的に現代の若者は常識知らずなので)社会に出て恥ずかしくない程度の常識を教えて欲しい」等の要望があった。また「大学との連携」「問題解決力・実践力向上を目指した教育」等を期待する意見が記されていた。

Ⅲ. 看護学研究科アンケート調査

1. 研究科学生自己評価アンケート調査

本調査は対象者数23、回収数15。ここでは15を分析対象とした。(1)については「はい」「いいえ」により、(2)から(10)までの9の質問に関しては4段階評価により、回答を求めた。

(1) 大学院の目的等について

大学院の目的等の周知状況をみるために3項目について質問した。「大学院の目的について、大学案内・シラバス・HP等で読んだことがある」と回答した学生は100%、「修了要件について知っている」学生は15名(93%)と高率であった。「成績評価が適切に行われていると思っている」学生は15名中8名(53%)で、6名(40%)が「いいえ」と回答した。このことから、成績評価の方法および成績確認申請手続きについては、今後さらなる周知を図っていく必要がある。

(2) オリエンテーションやガイダンスについて

「年度当初に実施されるオリエンテーションやガイダンスが履修の役に立ったか」については、「そう思う」「ややそう思う」が各7名(47%)で、両者を合わせた94%の学生がオリエンテーションは役に立ったと回答した。本項目に関連した自由記述(意見・要望)には、「年間スケジュール等の周知」(4件)、「修論ガイダンス」および「履修方法」、「院棟使用に関するガイダンス」に関する意見・要望が各1件あった。

(3) 学習支援について

「学習を進める上で、研究指導教員や科目担当教員からの相談・助言が必要な時に得られたか」については、11名(73%)が「そう思う」「ややそう思う」と回答しており、本研究科の学習支援体制は院生に概ね支持されていた。

自由記述「本学での相談・助言などの学習支援に関する意見・要望」では、少数ではあるが「適時適切な回答」(2件)、および「教員の時間確保」「教員間の人間関係」「領域間の壁」等に関するものが各1件あった。

(4) 自主学習環境について

「自主学習するスペースは十分だと思うか」という質問では、「そう思う」「ややそう思う」と回答した院生は13名(87%)と高率であった。また「コンピュータの利用環境に満足しているか」では、74%が「満足している」「やや満足している」と回答した。本項に関連した自由記述では、「院棟PC利用に満足している」という意見(1件)がある一方、「院棟PCの機能が悪い(重い・古い)」という意見(3件)があった。このほか、院生室の環境に関する意見が1件あった。以上より、院生の自主的学習環境は概ね良好であるといえる。

(5) 生活支援体制について

「生活支援(健康・生活・進路・各種ハラスメント)等に関する学生相談・助言の体制が充実していると思うか」という質問に対しては、「そう思う」「ややそう思う」が11名(73%)であり、概ね学生は満足しているといえる。

(6)施設・設備について

「学生便覧、各施設・設備の利用案内等を通して、本学の施設・設備の運用・管理について知っているか」という質問に、「知っている」「やや知っている」との回答は13名(87%)であった。以上より、院棟の施設・設備は大半の学生に周知されているといえる。

(7)講義室の設備(AV、プロジェクタ、実習設備等)について

講義室の設備(AV、プロジェクタ、実習設備等)については、「満足している」「やや満足している」との回答は11名(75%)で、院生は概ね満足しているといえる。

(8)ICT関係施設、設備、ネットワーク環境について

ICT関係施設、設備、ネットワーク環境についての満足度では、「満足している」「やや満足している」との回答は13件(87%)で、上記同様、院生は概ね満足しているといえる。

(9)授業の質向上と改善等について

自由記述「授業の質の向上や改善に向けての要望・意見」では、「CNS活動に関する講義」の要望(2件)、および「学内教員が協働した教育の質保証」「授業内容の明示」「十分なディスカッション」「入学直後の院生親交の機会」「院生と教員との修了年限認識の相違」に関する要望が各1件あった。

(10)大学院看護学研究科(博士課程)の設置・進学について

「看護系大学院(博士課程)への進学に関心があるか」との質問では、「ある」「ややある」との回答は6名(40%)、「あまりない」「ない」が9名(60%)であった。次に「本学大学院(博士課程)の設置に関心があるか」の質問においても、「ある」「ややある」との回答は7名(46%)、「あまりない」「ない」は8名(53%)であった。このように看護系大学院(博士課程)の設置・進学については、意見が二分していた。

本項に関連する自由記述で、関心が「ある」「ややある」と回答した院生に、「どのようなことを学びたいか」を尋ねたところ、「現研究課題を深めたい」(2件)、さらに設置には賛成だが「設置領域への疑問」とする意見等があった。このように、現時点では、院生自身が博士課程の設置・進学について意見を出せるだけの十分な情報を持ち得ていないことが、本結果の一要因とも考えられる。

(11)その他、看護学研究科の管理・運営に関する意見・要望

自由記述「看護学研究科の管理・運営に関する意見・要望」では、「修了年数」及び「学習環境」、「施設使用規定の遵守」に関するものが各2件、「情報伝達」、「相談後の影響が心配」、「指導方法改善」といった改善を求める意見が各1件あった。一方、「教員の熱心な指導」を指摘する意見も1件あった。

2. 研究科担当教員自己評価アンケート調査

本調査の対象者数は33、回収数17、回収率は51.5%であった。ここでは17を分析対象とした。

(1)大学院の目的、施設・設備の運用・管理についての周知

大学院の目的等の周知状況に関しては、「大学院の目的について、大学案内・シラバス・HP等で読んだことがある」と回答した教員は16名(94%)と高率であった。「学生便覧、各施設・設備の利用案内を通して、本学の施設・設備の運営・管理について知っているか」についての質問では、13名(76%)の教員が「知っている」と回答した。

(2)大学院の運営に反映させる仕組み等について

「個人の意見を大学院の運営に反映させる仕組みがあると思うか」の質問では、10名(59%)が「ある」と回答したが、7名(41%)が「ない」と回答していた。また、「大学院運営に関する個人の意見を会議等で出せていると思うか」についての質問においても、上記同様10名(59%)が「ある」と回答していたが、7名(41%)が「ない」と回答した。

以上より、個人の意見を大学院の運営に反映させる仕組みづくりや個人の意見を会議等で十分出せるため体制づくりの検討が今後、求められる。

(3)他者・他委員会の活動状況を知る機会について

「他の教職員の活動状況を知る機会があるか」については、「ない」との回答が12名(71%)で、「ある」は5名(29%)であった。また「他の大学院委員会の活動状況を知る機会があるか」についても、上記同様「ない」との回答が12名(71%)で、「ある」は5名(29%)であった。

以上より、大学院担当教員は他の教員の活動状況や他の大学院委員会の活動状況を知る機会が少ないことから、個人の活動状況や他の大学院委員会の活動について知る機会づくりが今後の課題となった。

(4)アドミッションポリシーに沿った入試の実施

「24年度入試に関しアドミッションポリシーに沿った入試を実施していると思うか」について、「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4段階評定で回答を求めた。「そう思う」「ややそう思う」は15名(88.2%)で、大半がアドミッションポリシーに沿った入試を実施していると思っていることが明らかになった。

(5)施設・設備について困っていること、改善に関する要望

「研究科講義室等の施設・設備について、現在困っていること、改善を要望することがあるか」について、自由記述にて回答を求めた。冷暖房の風量と室温調整が悪い、話し声などが響きやすい環境が困る等の「施設・設備」に関するものが3件、「鍵の開閉」「院生の危機管理意識の欠如」「院生の節電意識の欠如」「音響機器の不足」等が各1件あった。

(6)スキルアップのためにどのような研修会参加を希望するか

「職務を遂行する上で、どのようなスキルアップのための研修会に参加したいと思うか」について、同様に自由記述にて回答を求めた。教員の「研究能力向上」のための研修会が2

件、「教員の実践能力向上」のための研修会、「看護の動向」が各1件で、「海外の学会等に参加」を希望するものも1件あった。

(7)教育改善・教職員の資質向上のための活動(FD・SD)やその実施体制に関する要望

「本学大学院における教育改善・教職員の資質向上のための活動(FD・SD)やその実施体制に対して、望むこと」について、自由記述にて回答を求めた。教員の「研究能力の底上げ」「研究費の取得」「上級実践看護師の動向」が各1件あった。

(8)本学大学院の管理・運営に関する意見・要望

「その他、大学院の管理・運営に関して、意見・要望」についても、自由記述による回答を求めた。「教育・研究のレベルアップ」「修了判定への提案」「効率的な運営体制」「社会人入試の在り方」等への要望が各1件、「修了生の活動が見えない」との意見が1件あった。

IV. 自己評価アンケート調査にみられる課題

1.学部

(1)学生自己評価アンケート調査

- ・オリエンテーションについて、「分かりやすさ」を求める学生の要望がある。
- ・PC台数の増加、プリンタの保守・整備の要望が多かった。
- ・自主学習スペースの設置・拡張の要望が多かった。
- ・施設・設備の運用・管理について、学生の約40%に周知されていない状況にある。
- ・図書館の利用時間の延長、土日、休日開館の要望が多かった。
- ・情報教室、CALL 教室の利用時間の延長、土日、休日利用の要望が多かった。

(2)卒業生自己評価アンケート調査

- ・概して卒業生は本学の教育の有効性を高く評価しているが、学部・学科により評価に差異が生じている。
- ・昨年度に引き続き、「豊かな教養」への評価が相対的に低い。
- ・概して当該分野の大学院進学への関心が高かった。

(3)教職員自己評価アンケート調査

- ・「個人の意見を大学の運営に反映する仕組み」があると思う教職員は半数程度であった。
- ・「他の教職員の活動状況、委員会活動状況」について、教員は教授会報告等により改善が認められるが、事務局職員については相互理解、周知が十分ではない。
- ・施設・設備への要望は多岐にわたる。両キャンパス共に「教室数の不足」「情報機器の拡充と管理」「冷暖房の不調」について要望が依然多い。また、「図書館のエレベーター設置」等、「バリアフリー化への推進」も求められる。飯田キャンパスでは「駐車場・駐輪場の問題」、池田キャンパスでは「トイレの改善」「ブラインドの不具合」「教育環境改善のための物品」等の要望が出された。
- ・「災害時の備蓄食料、飲料水とそれを保管する倉庫の整備」は、地域貢献の視点からも新たな検討課題である。

- ・「職務遂行上のスキルアップ」について「FD・SD研修」「研修時間・予算の確保」が求められる、特に看護学部教員からは「実際に現場に向いての実践研修」の要望があった。また、事務局職員からは「具体的な職務に関する研修」の要望が多く寄せられた。
- ・「本学の大学運営」に関し、「事務職員の増員」「入試、教務へのプロパー職員の配置」等、人的配置による見直しについて要望が強い。また、「人的管理」では、「教員のメンタルヘルスへのサポートシステムの構築」等も課題である。「業務のあり方」については、昨年度と同様に、「研究時間の確保」「会議の効率化、時間帯の改善」「業務量の公平化」が求められていた。

(4)保護者アンケート調査

- ・入学生保護者の場合、教育内容や就職支援、施設・設備への期待とともに、授業料免除や奨学金制度、成績通知への期待が大きかった。
- ・卒業生保護者の場合、教育内容、就職支援、施設・設備への期待が大きかった。また、4年間の教育指導を評価する意見や、情報提供への要望があった。

(5)同窓会アンケート調査

- ・富桜会（国際政策学部・人間福祉学部）、白樹会（看護学部）ともに、教育内容、就職・進学指導、施設・設備への期待とともに、リカレント教育への期待も大きかった。

(6)卒業生就職先アンケート調査

- ・本学への評価と期待は着実に高まっていた。
- ・自由記述では「(一般的に現代の若者は常識知らずなので) 常識を教えて欲しい」「社会人としての強さがない」「メンタル面が少し弱い」等の指摘がなされているところから、社会性と自律心の涵養が求められる。
- ・実践力や大学との連携・協力を求める要望があった。

2.看護学研究科

(1)研究科学生自己評価アンケート調査

- ・成績評価の方法については、40%が「適切に行われていると思わない」と回答していた。成績評価の方法および成績確認申請について、今後、さらなる周知と検討が必要である。
- ・授業の質の向上や改善に向けての要望として、少数ではあるが、「CNS活動に関する講義」「学内教員が協働した教育の質保証」「授業内容の明示」「十分なディスカッション」等に関する要望がある。
- ・大学院看護学研究科(博士課程)の設置・進学に関しては、意見が二分していた。現時点では、院生自身が意見を十分出せるだけの情報を持ち得ていないことが考えられる。

(2)研究科担当教員自己評価アンケート調査

- ・「個人の意見を研究科の運営に反映させる仕組みづくり等」についての検討が求められる。
- ・他の教員の教育・研究活動や他の大学院委員会の活動状況を知る機会が少ないことから、相互の活動状況について知る機会づくりの検討が求められる。

- ・大学院棟の施設・設備に関しては、施設・設備(冷暖房管理、話し声が響きやすい環境等)の改善や院生自身の意識の改善(危機管理・節電)に対する要望がある。
- ・教育改善や教員の資質向上のため、教員の「研究能力の向上」「実践能力向上」「看護の動向」等に関する研修会の企画や教員の「研究能力の底上げ」「研究費の取得」への要望がある。
- ・大学院の管理・運営に関しては、少数ではあるが「教育・研究のレベルアップ」「終了判定への提案」「効率的な運営体制」「社会人入試の在り方」等への要望がある。

V. まとめ

1.学部

平成23年度自己評価アンケート調査は、今後の本学の運営の参考とすることを目的として実施された。調査対象は、「在学生」「卒業生」「教職員」「入学生・卒業生の保護者」「同窓会員」「卒業生就職先」とし、調査時期は平成24年1月から平成24年3月、一部4月初旬であった。調査の方法は集団調査、留め置き調査の併用とし、卒業生の就職先については訪問調査等とした。調査項目については、「平成23年度実施分大学評価基準及び選択的評価事項の分析に当たっての留意点等について」に基づき、平成23年度自己評価委員会において検討した案をもとに決定した。調査結果については、学部、学科、所属等別に集計後、資料1から10のとおり取りまとめ、分析を行った。自由記述についても分析を行い、その概要を本報告書に記述した。

これらの分析の結果、本アンケート調査の対象別に、課題となる事項を抽出することができた。本アンケート調査を実施した自己点検評価委員会として、これらの課題の中より、平成23年度においては、次の事項を本学の運営における改善の重点項目とし、それぞれの担当により検討をすすめることを提案し、まとめとしたい。

<学生自己評価アンケート調査>

- ・教育本部、全学教育委員会において、オリエンテーションの内容、方法等について検討する。
- ・事務局において施設・設備の運用・管理について、学生への周知方法を検討する。
- ・情報委員会と事務局との連携により、学内配備のPCとプリンタの台数と性能、利用時間についてさらに検討する。
- ・事務局において、大学の施設・設備について点検し、改善の方策を検討する。

<卒業生自己評価アンケート調査>

- ・学部・学科により教育の有効性に関する評価に差異が生じているので、教育本部、全学教育委員会において検討する。
- ・昨年度に引き続き、「豊かな教養」への評価が相対的に低いので、教育本部、全学教育委員会において検討する。

<教職員自己評価アンケート調査>

- ・「本学の大学運営」に関し、「事務職員の増員」「入試、教務へのプロパー職員の配置」等

人的配置による見直しを検討する。

- ・「人的管理」に関し、「教員のメンタルヘルスへのサポートシステムの構築」等を検討する。
- ・「業務のあり方」について、「研究時間の確保」「会議の効率化、時間帯の改善」「業務量の公平化」を検討する。
- ・学部、事務局において、「個人の意見を大学の運営に反映する仕組み」について検証し、その周知もしくは構築を図る。
- ・各委員会は、引き続き、教職員間の情報共有を図るべく、委員会活動実績・評価について教授会報告を行う。また、各センター、図書館においては年報を作成し、その活動の周知に努める。
- ・事務局において、大学の施設・設備について点検し、改善の方策を検討する。
- ・新たな課題として、地域貢献の視点からも「災害時の備蓄食料、飲料水とそれを保管する倉庫の整備」を検討する。

<保護者アンケート調査>

- ・広報本部、広報委員会において「本学の教育活動内容等の情報提供」について検討する。

2.研究科

平成23年度研究科自己評価アンケート調査は、学部同様、今後の本学の運営の参考とすることを目的として実施した。対象は、「研究科学生」「研究科担当教員」とし、平成24年1月に自記式（留め置き）調査にて実施した。

集計は、学部同様、項目ごとに単純集計を行い、自由記述は別途まとめた。

分析の結果、平成23年度においては、次の事項を本学の運営における改善の重点項目とし、それぞれの担当により検討を進めることを提案し、まとめとしたい。

<研究科学生自己評価アンケート調査>

- ・成績評価の方法および成績確認申請手続きについて、さらなる周知と検討を行う。
- ・授業の質の向上や改善に向けて、学内教員が協働した指導体制づくり、教育内容・方法等についてさらなる検討を行う。
- ・看護学研究科(博士課程)の設置・進学に関しては、準備状況を踏まえつつ、院生に情報提供を行っていく。

<研究科担当教員自己評価アンケート調査>

- ・研究科教員相互の教育・研究活動および大学院委員会の活動状況の周知に向け検討を行う。
- ・大学院棟の施設・設備（冷暖房・話し声が響きやすい環境等）の点検と整備を行う。
- ・危機管理、節電等に関する院生自身の意識改善を図るための検討を行う。
- ・教員の研究能力の向上・底上げ、実践能力向上等に関する検討を行う。
- ・大学院の管理・運営に関しては、取り組みの経緯を踏まえ、さらなる検討を行う。

資料1-1 学生自己評価アンケート調査結果

人(%)

回答	学科	総合政策	国際 コミュニケーション	福祉コミュニティ	人間形成	看護	全学科
●大学の目的等について							
1. 大学の目的について、大学シラバス・HP等で今までに読んだことがありますか。	はい	80(72.7%)	113(83.7%)	155(80.3%)	63(71.6%)	249(83.3%)	660(80.0%)
	いいえ	30(27.3%)	21(15.6%)	38(19.7%)	23(26.1%)	50(16.7%)	162(19.6%)
	無回答	0	1(0.7%)	0	2(2.3%)	0	3(0.4%)
2. 卒業要件について知っていますか。	はい	97(88.2%)	113(83.7%)	155(80.3%)	70(79.5%)	190(63.5%)	625(75.8%)
	いいえ	12(10.9%)	21(15.6%)	38(19.7%)	18(20.5%)	108(36.1%)	197(23.9%)
	無回答	1(0.9%)	1(0.7%)	0	0	1(0.3%)	3(0.4%)
3. 成績評価が適切に行われていると思いますか。	はい	94(85.5%)	114(84.4%)	178(92.2%)	80(90.9%)	252(84.3%)	718(87.0%)
	いいえ	15(13.6%)	18(13.3%)	14(7.3%)	7(8.0%)	44(14.7%)	98(11.9%)
	無回答	1(0.9%)	3(2.2%)	1(0.5%)	1(1.1%)	3(1.0%)	9(1.1%)

●オリエンテーションやガイダンスについて							
4. 学年当初に実施されるオリエンテーションやガイダンスは、あなたの履修に役立ちましたか。	そう思う	60(54.5%)	61(45.2%)	116(60.1%)	62(70.5%)	154(51.5%)	453(54.9%)
	ややそう思う	41(37.3%)	61(45.2%)	67(34.7%)	24(27.3%)	132(44.1%)	325(39.4%)
	あまりそう思わない	9(8.2%)	10(7.4%)	9(4.7%)	2(2.3%)	10(3.3%)	40(4.8%)
	そう思わない	0	2(1.5%)	0	0	3(1.0%)	5(0.6%)
	無回答	0	1(0.7%)	1(0.5%)	0	0	2(0.2%)

●学習支援について							
6. 学習を進める上で担任やチューター教員、科目教員からの相談が必要なきに得られたと思いますか。	そう思う	34(30.9%)	33(24.4%)	44(22.8%)	24(27.3%)	98(32.8%)	233(28.2%)
	ややそう思う	53(48.2%)	72(53.3%)	102(52.8%)	50(56.8%)	146(48.8%)	423(51.3%)
	あまりそう思わない	20(18.2%)	25(18.5%)	42(21.8%)	12(13.6%)	50(16.7%)	149(18.1%)
	そう思わない	3(2.7%)	3(2.2%)	5(2.6%)	1(1.1%)	5(1.7%)	17(2.1%)
	無回答	0	2(1.5%)	0	1(1.1%)	0	3(0.4%)

●自主学習について							
8. 自主学習のスペースは十分だと思えますか。	そう思う	12(10.9%)	16(11.9%)	27(14.0%)	16(18.2%)	60(20.1%)	131(15.9%)
	ややそう思う	41(37.3%)	41(30.4%)	57(29.5%)	28(31.8%)	134(44.8%)	301(36.5%)
	あまりそう思わない	38(34.5%)	50(37.0%)	83(43.0%)	37(42.0%)	82(27.4%)	290(35.2%)
	そう思わない	19(17.3%)	27(20.0%)	24(12.4%)	7(8.0%)	23(7.7%)	100(12.1%)
	無回答	0	1(0.7%)	2(1.0%)	0	0	3(0.4%)
9. コンピュータの利用環境に満足していますか。	満足している	17(15.5%)	16(11.9%)	25(13.0%)	15(17.0%)	83(27.8%)	156(18.9%)
	やや満足している	47(42.7%)	62(45.9%)	85(44.0%)	31(35.2%)	132(44.1%)	357(43.3%)
	あまり満足していない	28(25.5%)	34(25.2%)	73(37.8%)	32(36.4%)	69(23.1%)	236(28.6%)
	満足していない	18(16.4%)	22(16.3%)	9(4.7%)	9(10.2%)	15(5.0%)	73(8.8%)
	無回答	0	1(0.7%)	1(0.5%)	1(1.1%)	0	3(0.4%)

●生活支援について							
11. 生活支援(健康・生活・進路・各種ハラスメント)等に関する学生相談助言の体制が充実していると思えますか。	そう思う	24(21.8%)	27(20.0%)	61(31.6%)	33(37.5%)	64(21.4%)	209(25.3%)
	ややそう思う	66(60.0%)	76(56.3%)	104(53.9%)	43(48.9%)	183(61.2%)	472(57.2%)
	あまりそう思わない	14(12.7%)	23(17.0%)	22(11.4%)	7(8.0%)	42(14.0%)	108(13.1%)
	そう思わない	3(2.7%)	5(3.7%)	3(1.6%)	1(1.1%)	4(1.3%)	16(1.9%)
	無回答	3(2.7%)	4(3.0%)	3(1.6%)	4(4.5%)	6(2.0%)	20(2.4%)

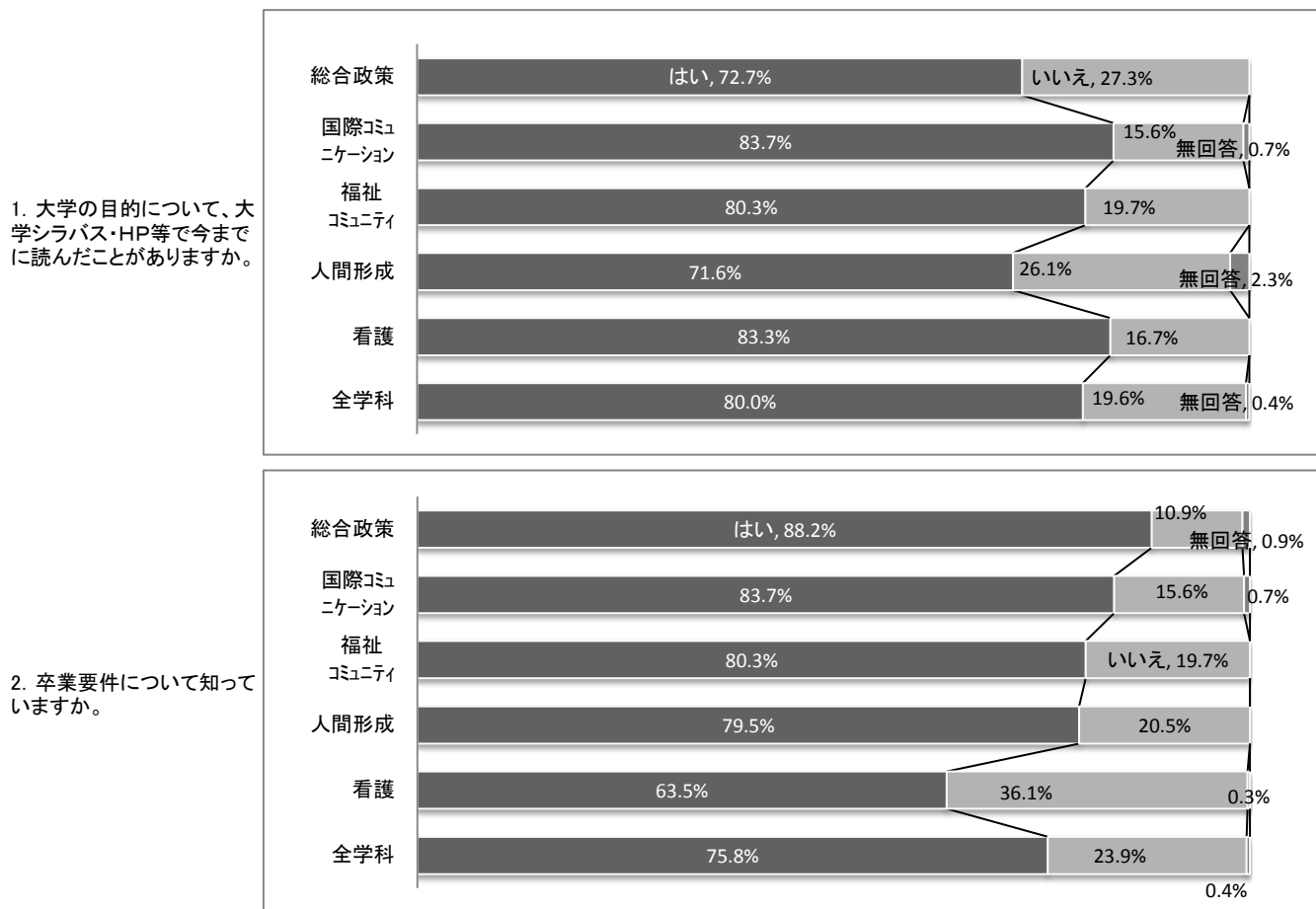
●施設設備について							
12. 学生便覧、各種施設、設備の利用案内等を通して本学の施設・設備の運用・管理について知っていますか。	知っている	13(11.8%)	14(10.4%)	28(14.5%)	15(17.0%)	32(10.7%)	102(12.4%)
	やや知っている	43(39.1%)	62(45.9%)	93(48.2%)	49(55.7%)	156(52.2%)	403(48.8%)
	あまり知らない	44(40.0%)	48(35.6%)	61(31.6%)	19(21.6%)	95(31.8%)	267(32.4%)
	知らない	6(5.5%)	7(5.2%)	7(3.6%)	2(2.3%)	9(3.0%)	31(3.8%)
	無回答	4(3.6%)	4(3.0%)	4(2.1%)	3(3.4%)	7(2.3%)	22(2.7%)

13. 教室の設備(AV、プロジェクタ、実習設備等)について、どの程度満足していますか	満足している	21(19.1%)	20(14.8%)	31(16.1%)	23(26.1%)	63(21.1%)	158(19.2%)
	やや満足している	59(53.6%)	76(56.3%)	109(56.5%)	46(52.3%)	149(49.8%)	439(53.2%)
	あまり満足していない	24(21.8%)	26(19.3%)	42(21.8%)	15(17.0%)	76(25.4%)	183(22.2%)
	満足していない	3(2.7%)	9(6.7%)	8(4.1%)	1(1.1%)	5(1.7%)	26(3.2%)
	無回答	3(2.7%)	4(3.0%)	3(1.6%)	3(3.4%)	6(2.0%)	19(2.3%)
14. ICT関係施設、設備、ネットワーク環境について、どの程度満足していますか	満足している	18(16.4%)	20(14.8%)	31(16.1%)	23(26.1%)	60(20.1%)	152(18.4%)
	やや満足している	60(54.5%)	68(50.4%)	115(59.6%)	43(48.9%)	169(56.5%)	455(55.2%)
	あまり満足していない	23(20.9%)	31(23.0%)	38(19.7%)	17(19.3%)	57(19.1%)	166(20.1%)
	満足していない	5(4.5%)	11(8.1%)	6(3.1%)	2(2.3%)	6(2.0%)	30(3.6%)
	無回答	4(3.6%)	5(3.7%)	3(1.6%)	3(3.4%)	7(2.3%)	22(2.7%)

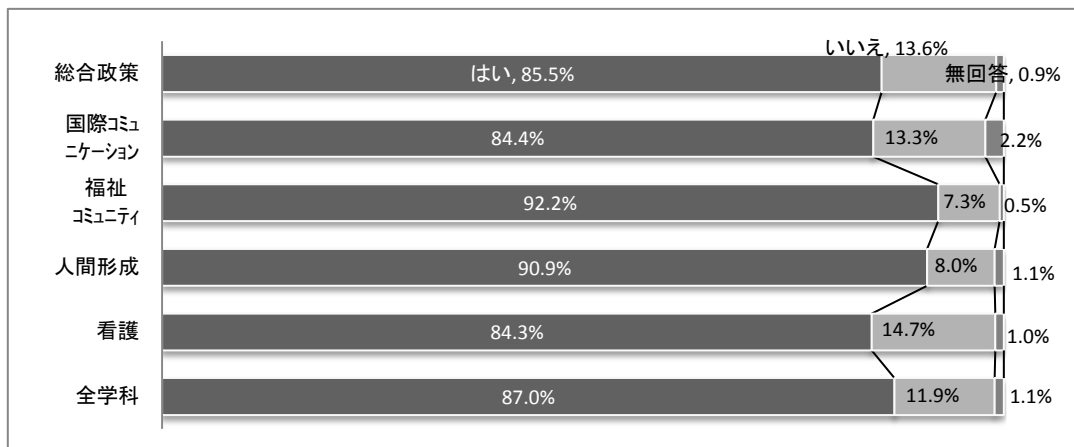
●国際政策学部・人間福祉学部で進められている大学院設置について

16.国際政策学部系の大学院への進学に関心がありますか。	ある	13(11.8%)	21(15.6%)	8(4.1%)	3(3.4%)	4(1.3%)	49(5.9%)
	ややある	16(14.5%)	19(14.1%)	8(4.1%)	5(5.7%)	3(1.0%)	51(6.2%)
	あまりない	37(33.6%)	47(34.8%)	51(26.4%)	23(26.1%)	40(13.4%)	198(24.0%)
	ない	39(35.5%)	44(32.6%)	102(52.8%)	50(56.8%)	211(70.6%)	446(54.1%)
	無回答	5(4.5%)	4(3.0%)	24(12.4%)	7(8.0%)	41(13.7%)	81(9.8%)
17.人間福祉学部系の大学院への進学に関心がありますか。	ある	2(1.8%)	1(0.7%)	31(16.1%)	14(15.9%)	5(1.7%)	53(6.4%)
	ややある	9(8.2%)	7(5.2%)	34(17.6%)	21(23.9%)	6(2.0%)	77(9.3%)
	あまりない	21(19.1%)	40(29.6%)	74(38.3%)	23(26.1%)	40(13.4%)	198(24.0%)
	ない	60(54.5%)	69(51.1%)	50(25.9%)	27(30.7%)	207(69.2%)	413(50.1%)
	無回答	18(16.4%)	18(13.3%)	4(2.1%)	3(3.4%)	41(13.7%)	84(10.2%)
各質問項目合計(人)		110	135	193	88	299	825

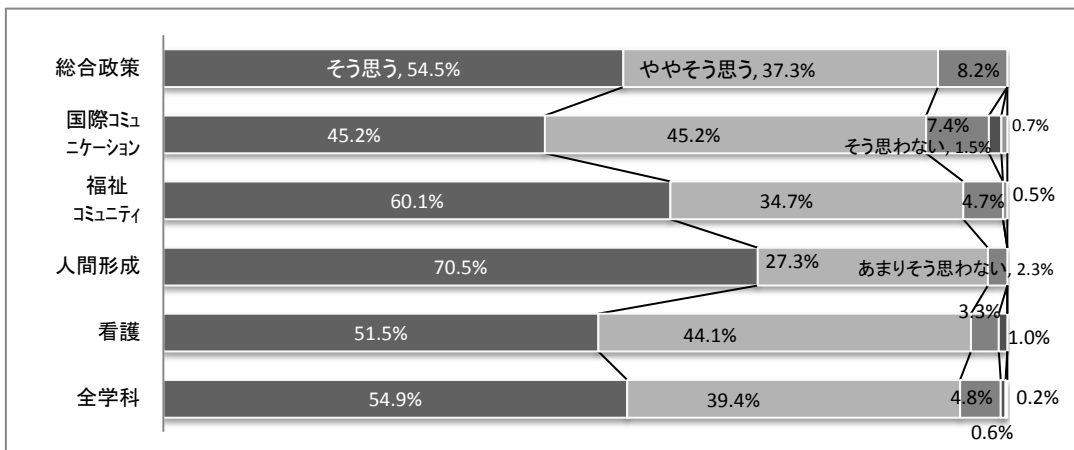
資料1-2 学生自己評価アンケート調査結果 グラフ



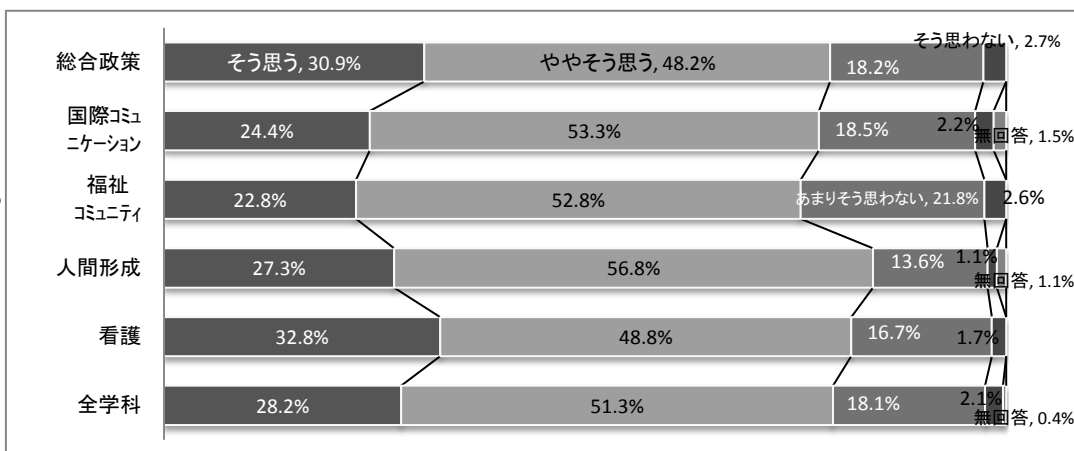
3. 成績評価が適切に行われていると思いますか。



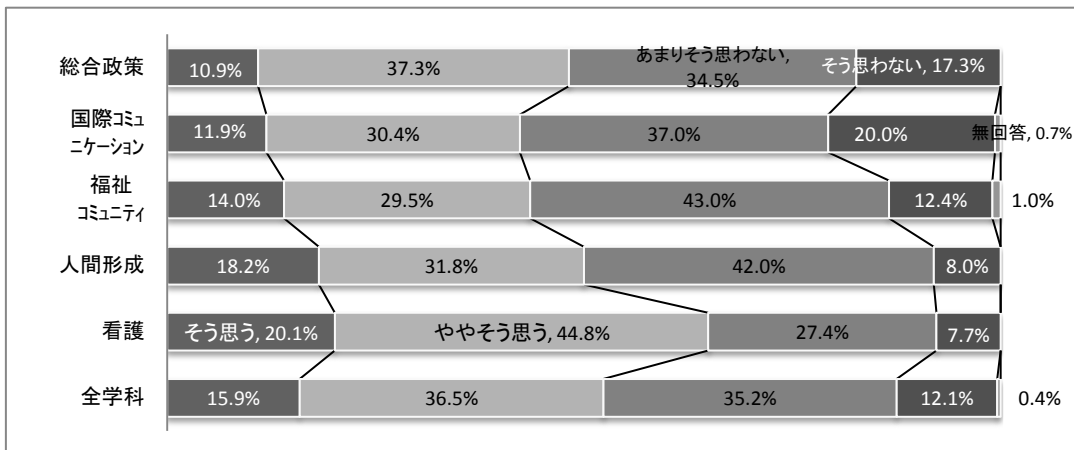
4. 学年当初に実施されるオリエンテーションやガイダンスは、あなたの履修に役立ちましたか。



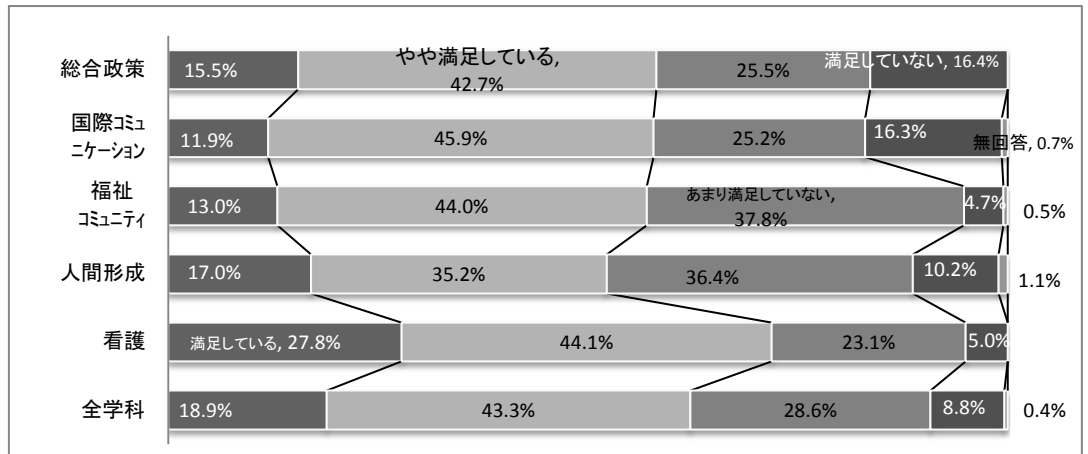
6. 学習を進める上で担任やチューター教員、科目教員からの相談が必要なときに得られたと思いますか。



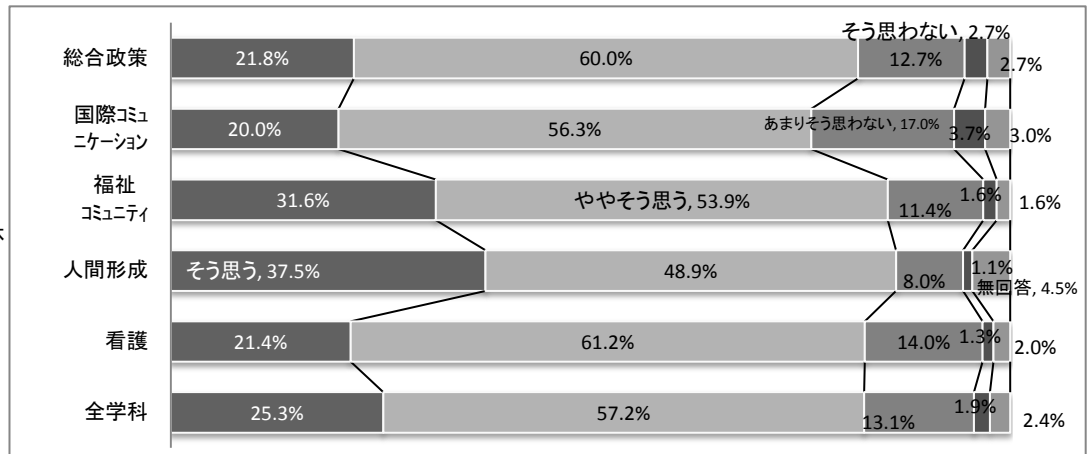
8. 自主学習のスペースは十分だと思いますか。



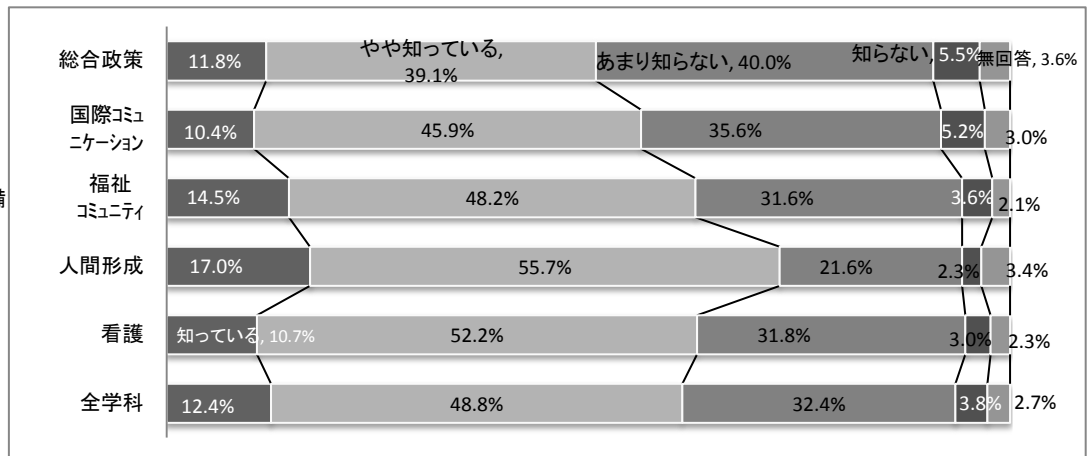
9. コンピュータの利用環境に満足していますか。



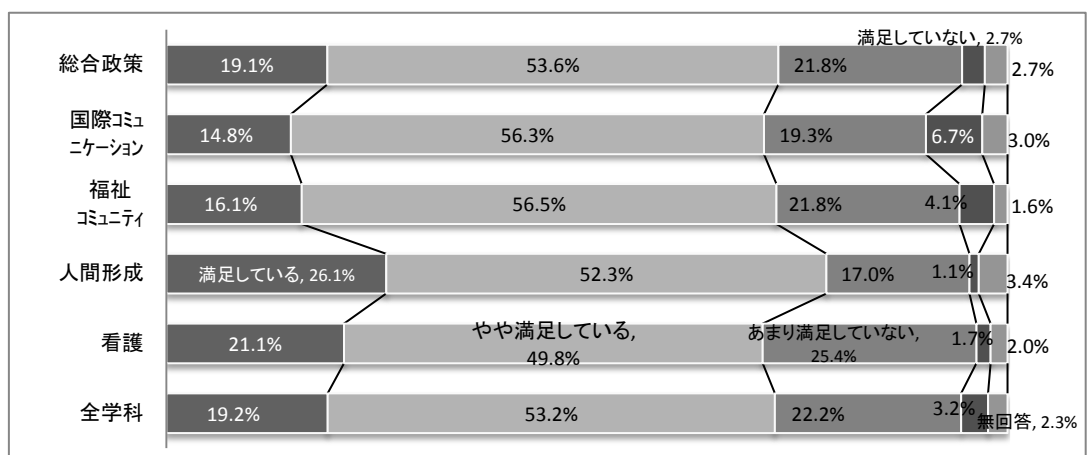
11. 生活支援(健康・生活・進路・各種ハラスメント)等に関する学生相談助言の体制が充実していると思いますか。



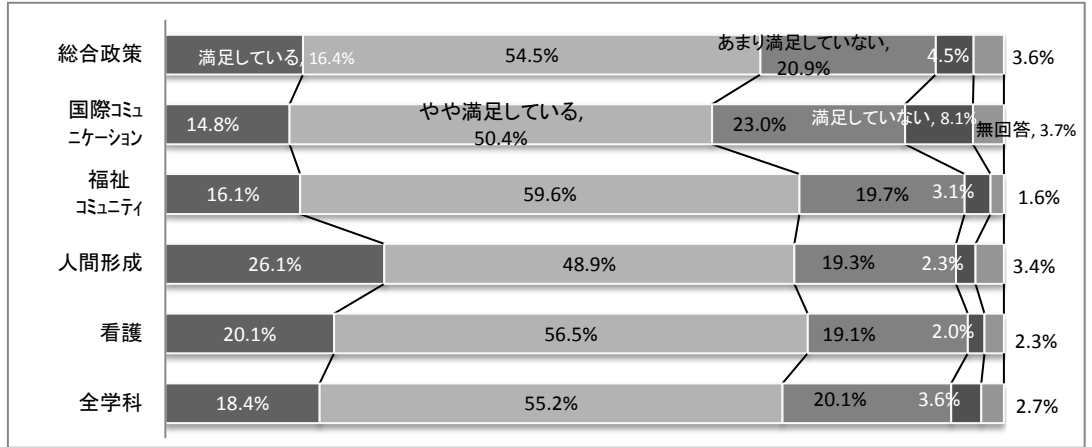
12. 学生便覧、各施設・設備の利用案内を通して本学の施設・設備の運用・管理について知っていますか。



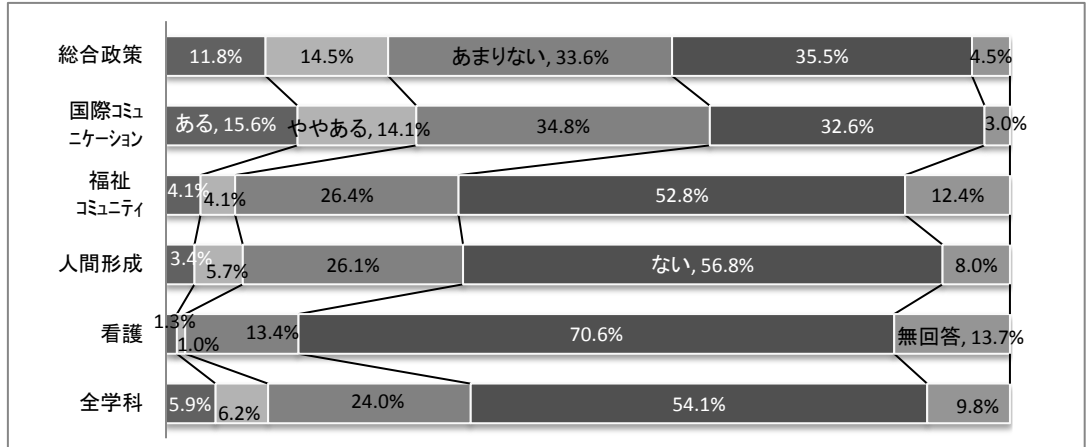
13. 教室の設備(AV、プロジェクター、実習設備等)について満足していますか。



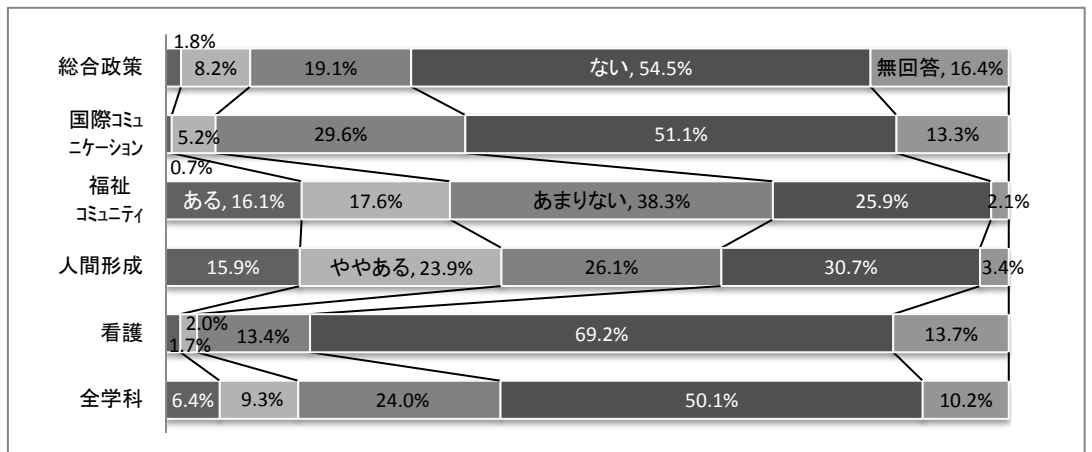
14. ICT関連施設、設備、ネットワーク環境について。満足していますか。



16. 国際政策学部系の大学院への進学に関心がありますか。



17. 人間福祉学部系の大学院への進学に関心がありますか。



資料2-1 卒業生アンケート調査結果

I 自分が受けた4年間の教育は下記の点において有効であったと思いますか 人(%)

	回答	学科					
		総合政策	国際 コミュニケーション	福祉コミュニティ	人間形成	看護	全学科
1.人格形成	そう思う	12(48.0%)	2(12.5%)	8(36.4%)	15(71.4%)	57(73.1%)	94(58.0%)
	ややそう思う	10(40.0%)	8(50.0%)	13(59.1%)	6(28.6%)	17(21.8%)	54(33.3%)
	あまりそう思わない	2(8.0%)	6(37.5%)	1(4.5%)	0	2(2.6%)	11(6.8%)
	そう思わない	1(4.0%)	0	0	0	2(2.6%)	3(1.9%)
	無回答	0	0	0	0	0	0
2.豊かな教養	そう思う	10(40.0%)	4(25.0%)	5(22.7%)	18(85.7%)	43(55.1%)	80(49.4%)
	ややそう思う	9(36.0%)	6(37.5%)	12(54.5%)	3(14.3%)	31(39.7%)	61(37.7%)
	あまりそう思わない	6(24.0%)	6(37.5%)	5(22.7%)	0	3(3.8%)	20(12.3%)
	そう思わない	0	0	0	0	1(1.3%)	1(0.6%)
	無回答	0	0	0	0	0	0
3.人間関係形成 (協調性・コミュニケーション)	そう思う	12(48.0%)	5(31.3%)	10(45.5%)	17(81.0%)	56(71.8%)	100(61.7%)
	ややそう思う	10(40.0%)	11(68.8%)	12(54.5%)	4(19.0%)	18(23.1%)	55(34.0%)
	あまりそう思わない	3(12.0%)	0	0	0	3(3.8%)	6(3.7%)
	そう思わない	0	0	0	0	1(1.3%)	1(0.6%)
	無回答	0	0	0	0	0	0
4.問題や課題の 克服・意欲	そう思う	14(56.0%)	2(12.5%)	8(36.4%)	16(76.2%)	53(67.9%)	93(57.4%)
	ややそう思う	8(32.0%)	11(68.8%)	12(54.5%)	5(23.8%)	21(26.9%)	57(35.2%)
	あまりそう思わない	3(12.0%)	3(18.8%)	2(9.1%)	0	3(3.8%)	11(6.8%)
	そう思わない	0	0	0	0	1(1.3%)	1(0.6%)
	無回答	0	0	0	0	0	0
5.今後の自己成長	そう思う	14(56.0%)	5(31.3%)	10(45.5%)	14(66.7%)	59(75.6%)	102(63.0%)
	ややそう思う	10(40.0%)	10(62.5%)	12(54.5%)	7(33.3%)	17(21.8%)	56(34.6%)
	あまりそう思わない	1(4.0%)	1(6.3%)	0	0	1(1.3%)	3(1.9%)
	そう思わない	0	0	0	0	1(1.3%)	1(0.6%)
	無回答	0	0	0	0	0	0

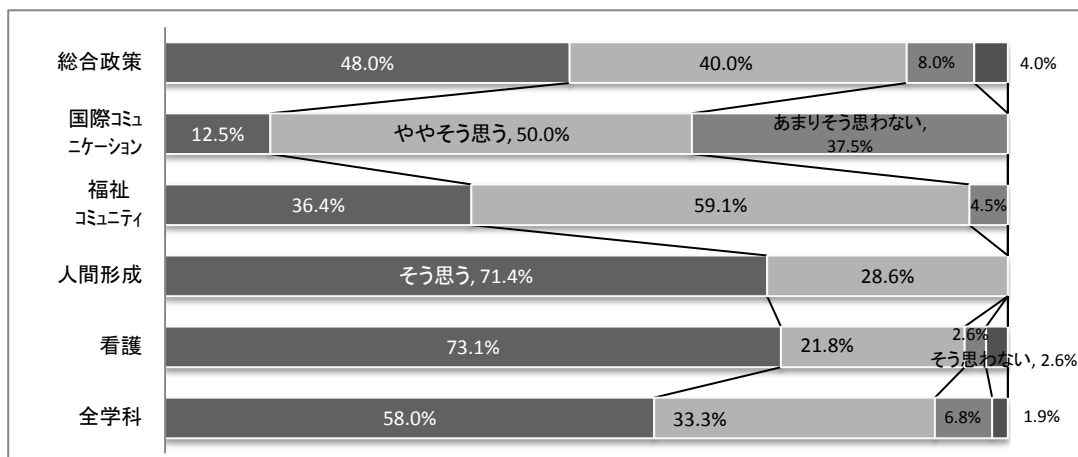
III 大学院進学(修士課程)への進学について、お聞きます

1.国際政策学部系の 大学院への進学に 関心がありますか	ある	3(12.0%)	1(6.3%)	1(4.5%)	0	1(1.3%)	6(3.7%)
	ややある	6(24.0%)	0	0	0	1(1.3%)	7(4.3%)
	あまりない	4(16.0%)	5(31.3%)	5(22.7%)	7(33.3%)	7(9.0%)	28(17.3%)
	ない	12(48.0%)	7(43.8%)	15(68.2%)	13(61.9%)	65(83.3%)	112(69.1%)
	無回答	0	3(18.8%)	1(4.5%)	1(4.8%)	4(5.1%)	9(5.6%)
2.人間福祉学部系の 大学院への進学に 関心がありますか	ある	1(4.0%)	0	4(18.2%)	0	1(1.3%)	6(3.7%)
	ややある	1(4.0%)	0	5(22.7%)	4(19.0%)	2(2.6%)	12(7.4%)
	あまりない	2(8.0%)	2(12.5%)	8(36.4%)	6(28.6%)	6(7.7%)	24(14.8%)
	ない	18(72.0%)	10(62.5%)	5(22.7%)	11(52.4%)	65(83.3%)	109(67.3%)
	無回答	3(12.0%)	4(25.0%)	0	0	4(5.1%)	11(6.8%)
3.看護学部系の 大学院への進学に 関心がありますか	ある	1(4.0%)	0	0	0	10(12.8%)	11(6.8%)
	ややある	1(4.0%)	1(6.3%)	1(4.5%)	0	24(30.8%)	27(16.7%)
	あまりない	2(8.0%)	1(6.3%)	8(36.4%)	6(28.6%)	18(23.1%)	35(21.6%)
	ない	18(72.0%)	10(62.5%)	12(54.5%)	14(66.7%)	25(32.1%)	79(48.8%)
	無回答	3(12.0%)	4(25.0%)	1(4.5%)	1(4.8%)	1(1.3%)	10(6.2%)
4.本学看護研究科への 進学に関心がありますか	ある	1(4.0%)	1(6.3%)	1(4.5%)	0	7(9.0%)	10(6.2%)
	ややある	1(4.0%)	0	0	0	17(21.8%)	18(11.1%)
	あまりない	2(8.0%)	1(6.3%)	6(27.3%)	6(28.6%)	25(32.1%)	40(24.7%)
	ない	18(72.0%)	10(62.5%)	14(63.6%)	14(66.7%)	26(33.3%)	82(50.6%)
	無回答	3(12.0%)	4(25.0%)	1(4.5%)	1(4.8%)	3(3.8%)	12(7.4%)
各質問項目合計(人)		25	16	22	21	78	162

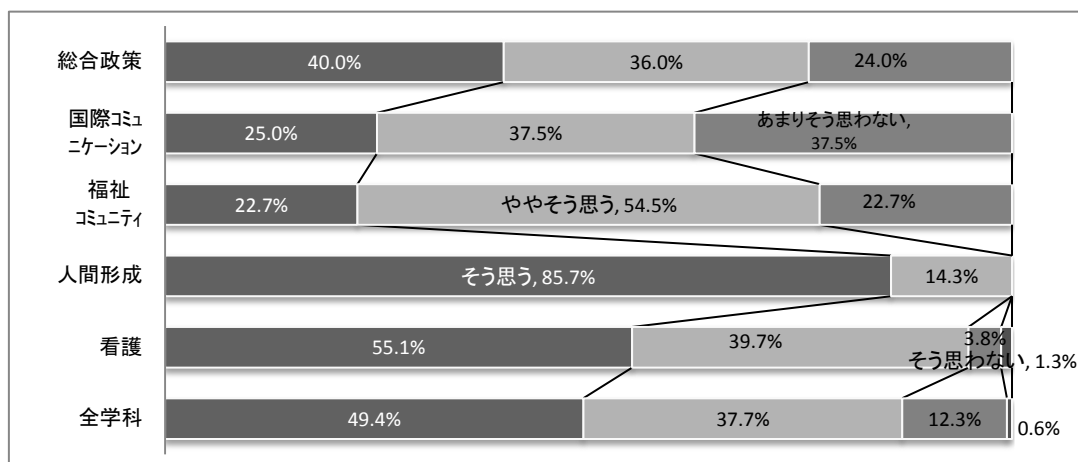
資料2-2 卒業生アンケート調査結果 グラフ

I 自分が受けた4年間の教育は下記の点において有効であったと思いますか

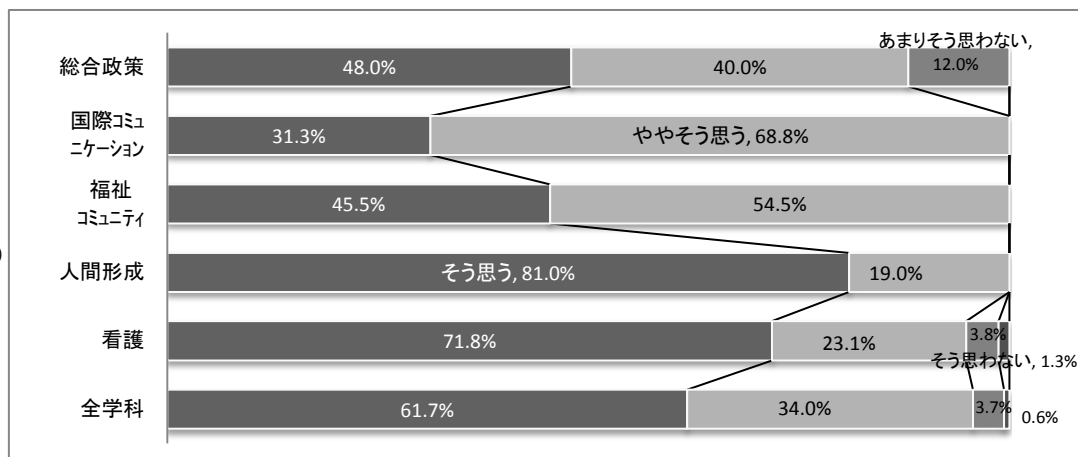
1. 人格形成



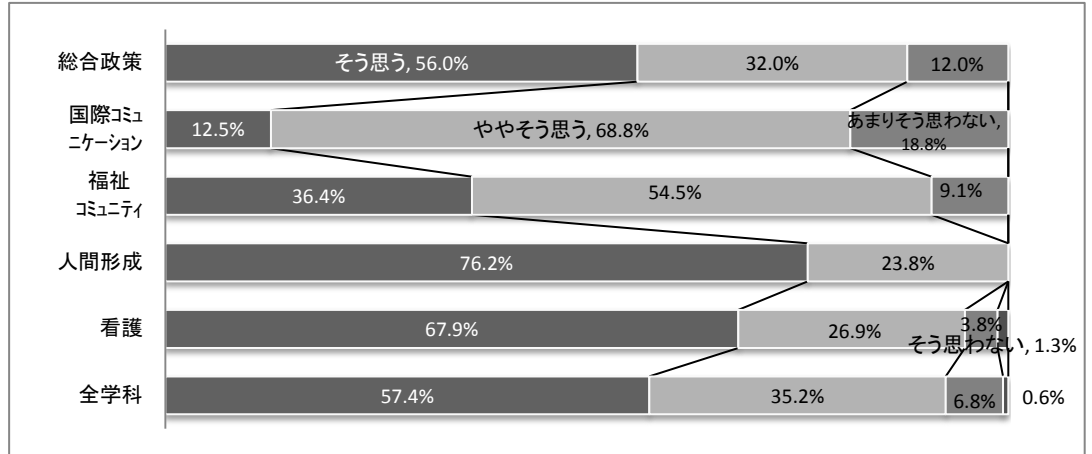
2. 豊かな教養



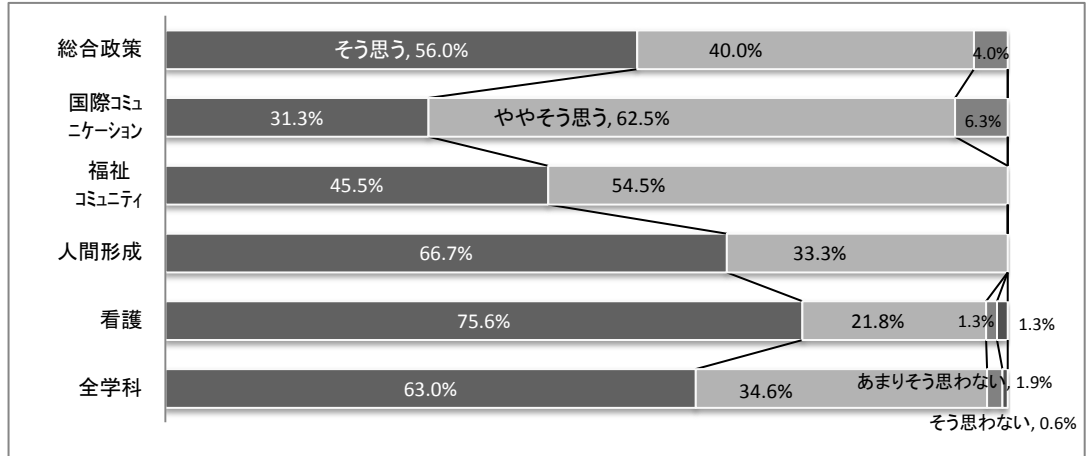
3. 人間関係形成 (協調性・コミュニケーション)



4.問題や課題の克服

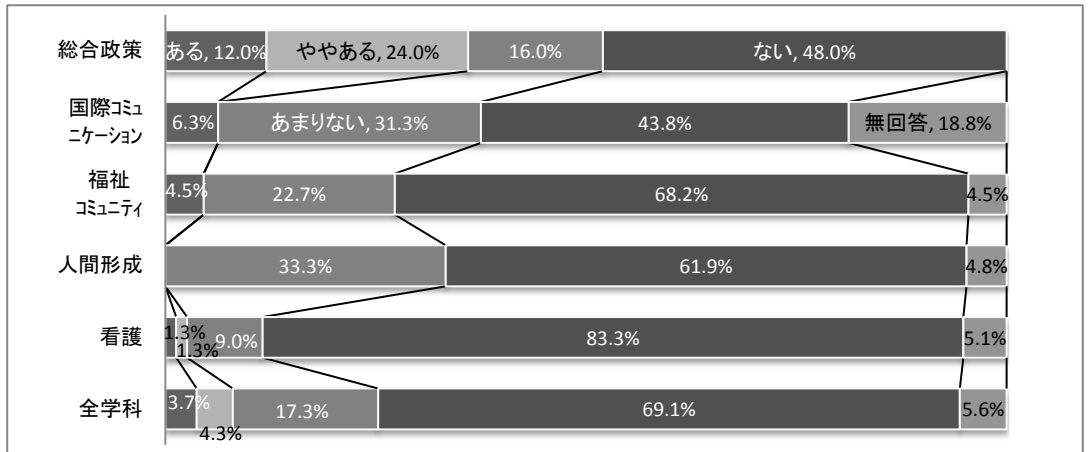


5.今後の自己成長

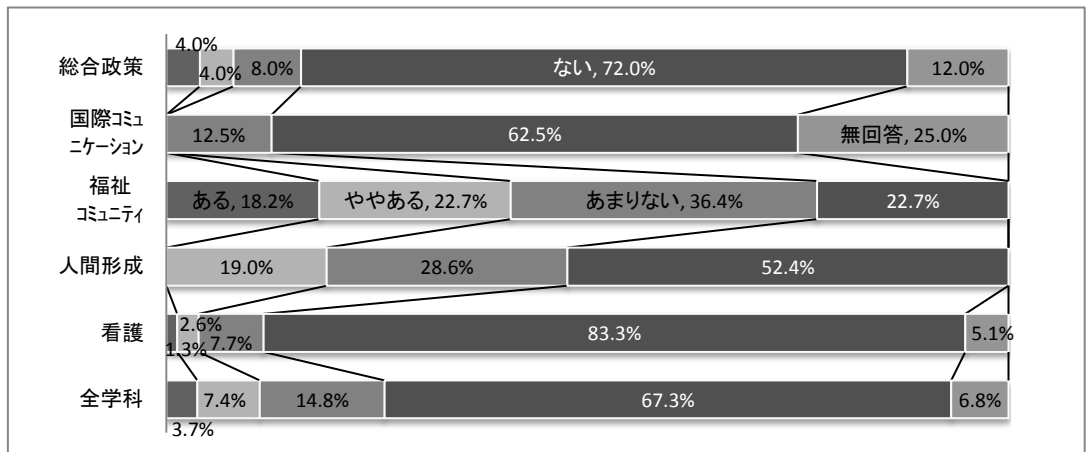


Ⅲ 大学院進学(修士課程)への進学について、お聞きします

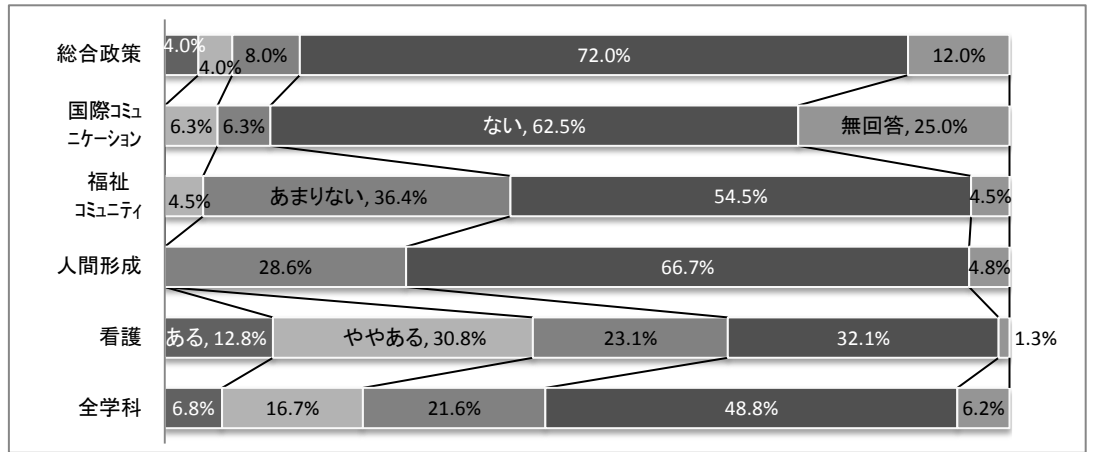
1.国際政策学部系の大学院への進学に関心がありますか。



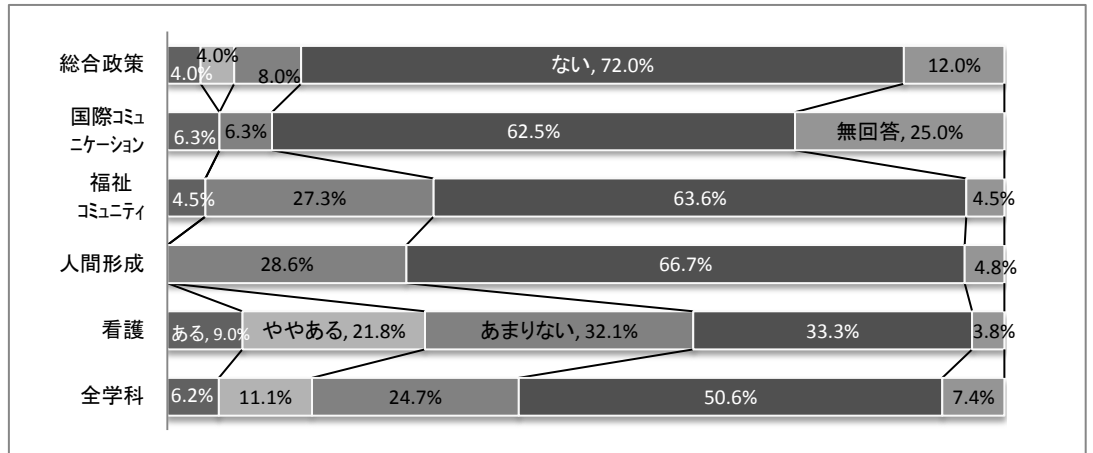
2.人間福祉学部系の大学院への進学に関心がありますか。



3.看護学部系の
大学院への進学に
関心がありますか。



4.本学看護研究科への
進学に関心がありますか。



資料3-1 教職員自己評価アンケート調査結果

人(%)

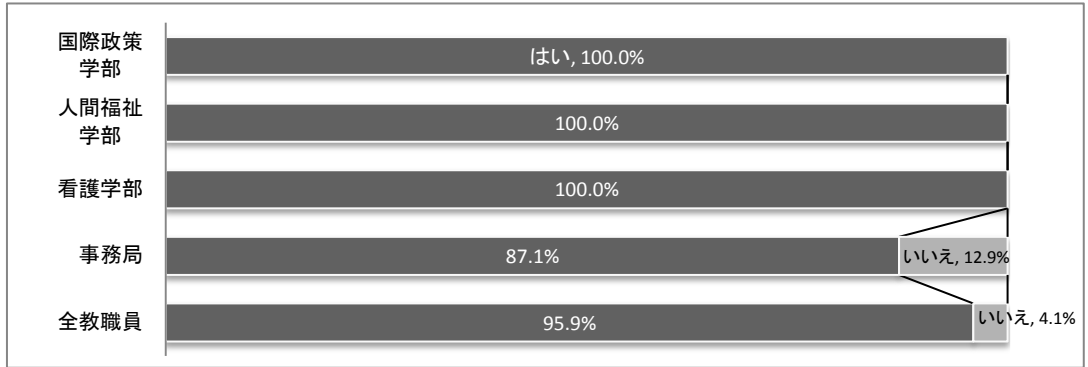
	回答	学部	国際政策	人間福祉	看護	事務局	全教職員
1. 大学の目的について、 大学案内・シラバス・HP等 学んだことがありますか。	はい		18(100%)	12(100%)	37(100%)	27(87.1%)	94(95.9%)
	いいえ		0	0	0	4(12.9%)	4(4.1%)
	無回答		0	0	0	0	0
2. 学生便覧、各施設・設備 の利用案内を通して、本学 の施設・設備の運用・管理 について知っていますか。	そう思う		7(38.9%)	5(41.7%)	16(43.2%)	6(19.4%)	34(34.7%)
	ややそう思う		10(55.6%)	6(50.0%)	19(51.4%)	19(61.3%)	54(55.1%)
	あまりそう思わない		1(5.6%)	1(8.3%)	2(5.4%)	4(12.9%)	8(8.2%)
	そう思わない		0	0	0	2(6.5%)	2(2.0%)
	無回答		0	0	0	0	0
3. 個人の意見を大学の 運営に反映させる仕組 みがあると思いますか。	そう思う		5(27.8%)	1(8.3%)	6(16.2%)	2(6.5%)	14(14.3%)
	ややそう思う		5(27.8%)	8(66.7%)	15(40.5%)	8(25.8%)	36(36.7%)
	あまりそう思わない		7(38.9%)	1(8.3%)	8(21.6%)	14(45.2%)	30(30.6%)
	そう思わない		1(5.6%)	2(16.7%)	8(21.6%)	6(19.4%)	17(17.3%)
	無回答		0	0	0	1(3.2%)	1(1.0%)
4. 学部運営に関する 個人の意見を会議等で 出せていると思います か。(教員に限る)	そう思う		7(38.9%)	5(41.7%)	6(16.2%)	-	18(26.9%)
	ややそう思う		8(44.4%)	6(50.0%)	13(35.1%)	-	27(40.3%)
	あまりそう思わない		2(11.1%)	1(8.3%)	10(27.0%)	-	13(19.4%)
	そう思わない		1(5.6%)	0	7(18.9%)	-	8(11.9%)
	無回答		0	0	1(2.7%)	-	1(1.5%)
5. 他の教職員の活動状 況を知る機会があります か。	そう思う		3(16.7%)	2(16.7%)	4(10.8%)	2(6.5%)	11(11.2%)
	ややそう思う		8(44.4%)	6(50.0%)	13(35.1%)	5(16.1%)	32(32.7%)
	あまりそう思わない		7(38.9%)	3(25.0%)	15(40.5%)	15(48.4%)	40(40.8%)
	そう思わない		0	1(8.3%)	4(10.8%)	8(25.8%)	13(13.3%)
	無回答		0	0	1(2.7%)	1(3.2%)	2(2.0%)
6. 他の委員会の活動状 況を知る機会があります か。	そう思う		3(16.7%)	1(8.3%)	10(27.0%)	2(6.5%)	16(16.3%)
	ややそう思う		7(38.9%)	5(41.7%)	14(37.8%)	4(12.9%)	30(30.6%)
	あまりそう思わない		7(38.9%)	6(50.0%)	11(29.7%)	15(48.4%)	39(39.8%)
	そう思わない		1(5.6%)	0	2(5.4%)	9(29.0%)	12(12.2%)
	無回答		0	0	0	1(3.2%)	1(1.0%)
7. 24年度入試に関して アドミッションポリシーに 沿った入試を実施してい ると思いますか。	そう思う		9(50.0%)	5(41.7%)	14(37.8%)	4(12.9%)	32(32.7%)
	ややそう思う		9(50.0%)	6(50.0%)	17(45.9%)	15(48.4%)	47(48.0%)
	あまりそう思わない		0	0	5(13.5%)	8(25.8%)	13(13.3%)
	そう思わない		0	1(8.3%)	1(2.7%)	0	2(2.0%)
	無回答		0	0	0	4(12.9%)	4(4.1%)
各質問項目合計(人)			18	12	37	31	98

*1

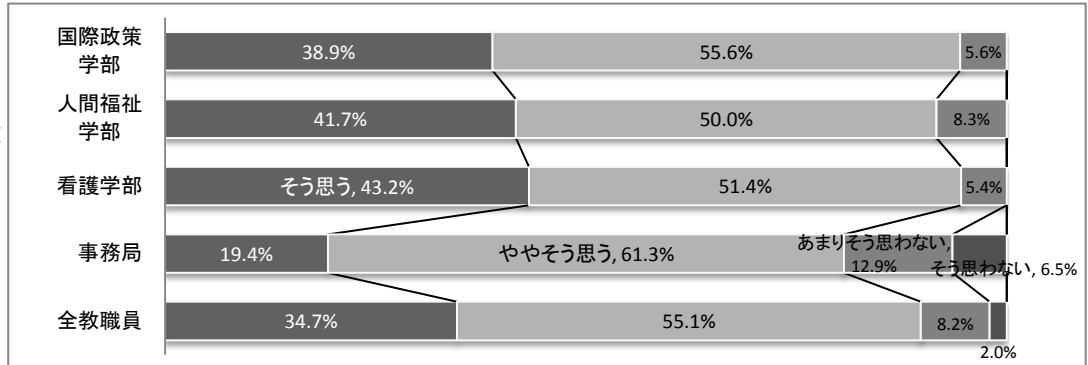
*1 教員のみ N=67

資料3-2 教職員自己評価アンケート調査結果 グラフ

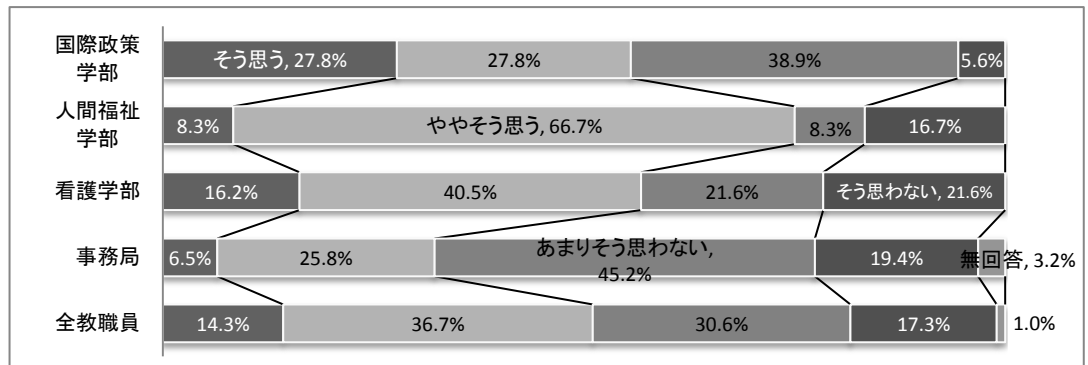
1. 大学の目的について、大学案内・シラバス・HP等で学んだことがありますか。



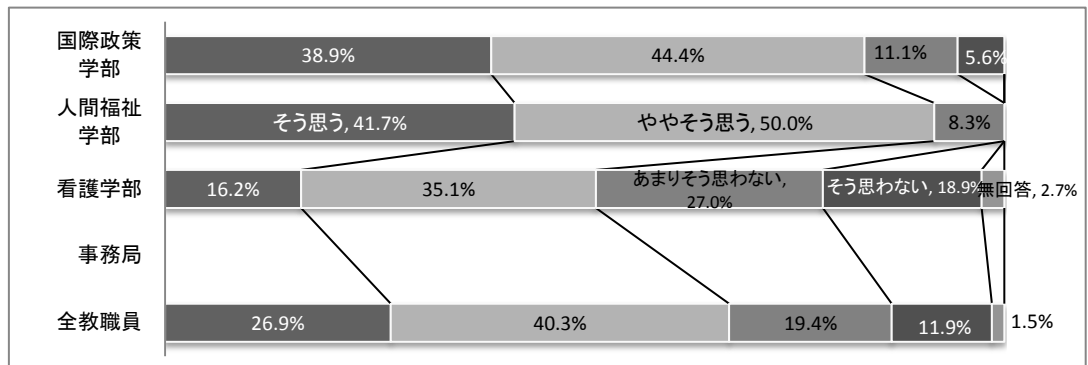
2. 学生便覧、各施設・設備の利用案内を通して、本学の施設・設備の運用・管理について知っていますか。



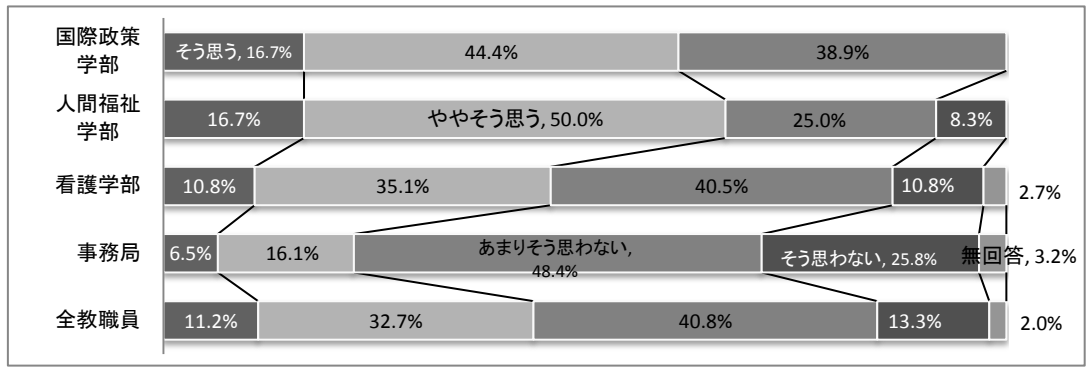
3. 個人の意見を大学の運営に反映させる仕組みがあると思いますか。



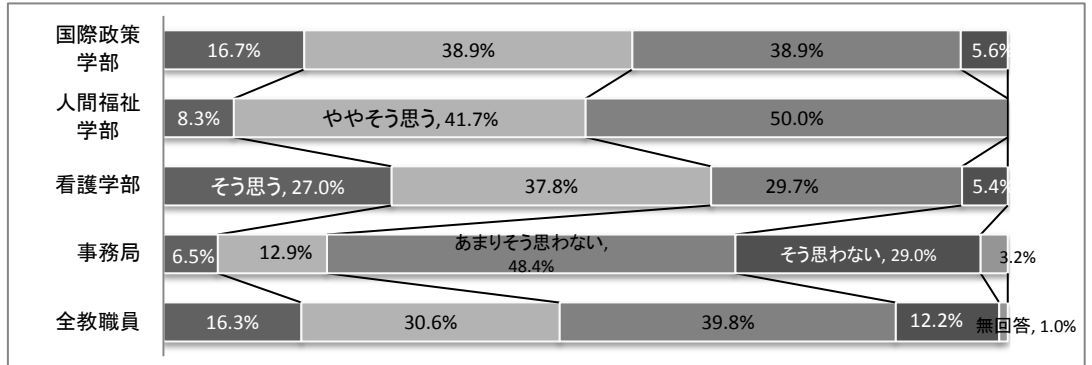
4. 学部運営に関する個人の意見を会議等で出せていると思いますか。(教員に限る)



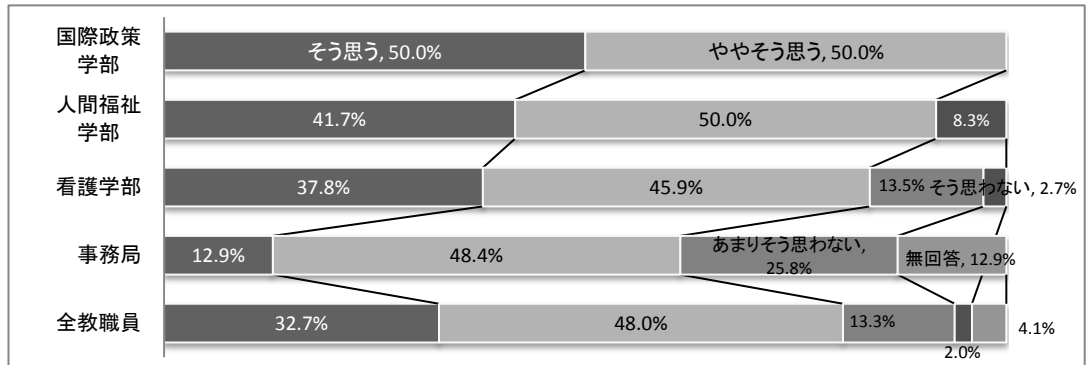
5. 他の教職員の活動
状況を知る機会がありま
すか。



6. 他の委員会の活動
状況を知る機会がありま
すか。



7. 24年度入試に関して
アドミッションポリシーに
沿った入試を実施してい
ると思いますか。



資料4-1 入学生保護者 アンケート

本学の教育や運営に関する以下の事項に関してお答えください

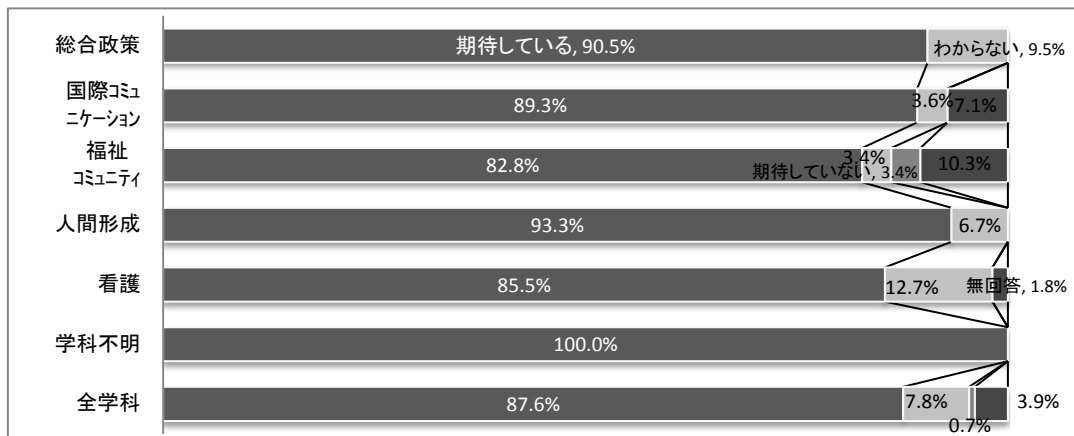
人(%)

	回答	総合政策	国際 コミュニケーション	福祉コミュニティ	人間形成	看護	学科不明	全学科
1. 一般教養(教養)の 教育の充実	期待している	19(90.5%)	25(89.3%)	24(82.8%)	14(93.3%)	47(85.5%)	5(100%)	134(87.6%)
	わからない	2(9.5%)	1(3.6%)	1(3.4%)	1(6.7%)	7(12.7%)	0	12(7.8%)
	期待していない	0	0	1(3.4%)	0	0	0	1(0.7%)
	無回答	0	2(7.1%)	3(10.3%)	0	1(1.8%)	0	6(3.9%)
2. 専門分野の 教育の充実	期待している	20(95.2%)	24(85.7%)	27(93.1%)	15(100%)	54(98.2%)	5(100%)	145(94.8%)
	わからない	1(4.8%)	2(7.1%)	0	0	1(1.8%)	0	4(2.6%)
	期待していない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	2(7.1%)	2(6.9%)	0	0	0	4(2.6%)
3. 人間関係形成・ 人格形成のための 教育の充実	期待している	18(85.7%)	20(71.4%)	27(93.1%)	15(100%)	52(94.5%)	5(100%)	137(89.5%)
	わからない	3(14.3%)	5(17.9%)	1(3.4%)	0	3(5.5%)	0	12(7.8%)
	期待していない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	3(10.7%)	1(3.4%)	0	0	0	4(2.6%)
4. 国際交流・ 留学制度の充実	期待している	16(76.2%)	24(85.7%)	8(27.6%)	10(66.7%)	31(56.4%)	5(100%)	94(61.4%)
	わからない	5(23.8%)	3(10.7%)	16(55.2%)	5(33.3%)	20(36.4%)	0	49(32.0%)
	期待していない	0	0	1(3.4%)	0	1(1.8%)	0	2(1.3%)
	無回答	0	1(3.6%)	4(13.8%)	0	3(5.5%)	0	8(5.2%)
5. 教育施設・設備の 充実	期待している	14(66.7%)	18(64.3%)	18(62.1%)	13(86.7%)	47(85.5%)	4(80%)	114(74.5%)
	わからない	6(28.6%)	6(21.4%)	7(24.1%)	1(6.7%)	6(10.9%)	1(20%)	27(17.6%)
	期待していない	1(4.8%)	0	1(3.4%)	0	0	0	2(1.3%)
	無回答	0	4(14.3%)	3(10.3%)	1(6.7%)	2(3.6%)	0	10(6.5%)
6. 就職・進学指導の 充実	期待している	19(90.5%)	25(89.3%)	28(96.6%)	15(100%)	52(94.5%)	5(100%)	144(94.1%)
	わからない	2(9.5%)	3(10.7%)	0	0	1(1.8%)	0	6(3.9%)
	期待していない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	1(3.4%)	0	2(3.6%)	0	3(2.0%)
7. リカレント教育 (社会人の再教育) の充実	期待している	10(47.6%)	16(57.1%)	13(44.8%)	11(73.3%)	30(54.5%)	3(60%)	83(54.2%)
	わからない	10(47.6%)	9(32.1%)	12(41.4%)	3(20.0%)	24(43.6%)	2(40%)	60(39.2%)
	期待していない	1(4.8%)	0	1(3.4%)	0	0	0	2(1.3%)
	無回答	0	3(10.7%)	3(10.3%)	1(6.7%)	1(1.8%)	0	8(5.2%)
8. 授業料減免制度の 充実	期待している	15(71.4%)	19(67.9%)	17(58.6%)	12(80.0%)	35(63.6%)	3(60%)	101(66.0%)
	わからない	5(23.8%)	6(21.4%)	8(27.6%)	3(20.0%)	17(30.9%)	2(40%)	41(26.8%)
	期待していない	0	1(3.6%)	0	0	2(3.6%)	0	3(2.0%)
	無回答	1(4.8%)	2(7.1%)	4(13.8%)	0	1(1.8%)	0	8(5.2%)
9. 大学独自の奨学金制 度の充実	期待している	14(66.7%)	21(75.0%)	19(65.5%)	13(86.7%)	38(69.1%)	3(60%)	108(70.6%)
	わからない	6(28.6%)	5(17.9%)	8(27.6%)	0	15(27.3%)	1(20%)	35(22.9%)
	期待していない	0	0	0	0	1(1.8%)	1(20%)	2(1.3%)
	無回答	1(4.8%)	2(7.1%)	2(6.9%)	2(13.3%)	1(1.8%)	0	8(5.2%)
10. 成績通知の充実	期待している	17(81.0%)	14(50.0%)	19(65.5%)	9(60.0%)	35(63.6%)	2(40%)	96(62.7%)
	わからない	3(14.3%)	11(39.3%)	6(20.7%)	5(33.3%)	17(30.9%)	2(40%)	44(28.8%)
	期待していない	0	0	1(3.4%)	1(6.7%)	2(3.6%)	1(20%)	5(3.3%)
	無回答	1(4.8%)	3(10.7%)	3(10.3%)	0	1(1.8%)	0	8(5.2%)
11. 国際政策学部系の 大学院の設置	期待している	11(52.4%)	14(50.0%)	6(20.7%)	7(46.7%)	12(21.8%)	4(80%)	54(35.3%)
	わからない	10(47.6%)	10(35.7%)	17(58.6%)	5(33.3%)	37(67.3%)	1(20%)	80(52.3%)
	期待していない	0	0	1(3.4%)	1(6.7%)	3(5.5%)	0	5(3.3%)
	無回答	0	4(14.3%)	5(17.2%)	2(13.3%)	3(5.5%)	0	14(9.2%)
12. 人間福祉学部系の 大学院の設置	期待している	7(33.3%)	12(42.9%)	17(58.6%)	9(60.0%)	12(21.8%)	4(80%)	61(39.9%)
	わからない	13(61.9%)	10(35.7%)	10(34.5%)	4(26.7%)	37(67.3%)	1(20%)	75(49.0%)
	期待していない	0	1(3.6%)	1(3.4%)	1(6.7%)	3(5.5%)	0	6(3.9%)
	無回答	1(4.8%)	5(17.9%)	1(3.4%)	1(6.7%)	3(5.5%)	0	11(7.2%)
各質問項目合計(人)		21	28	29	15	55	5	153

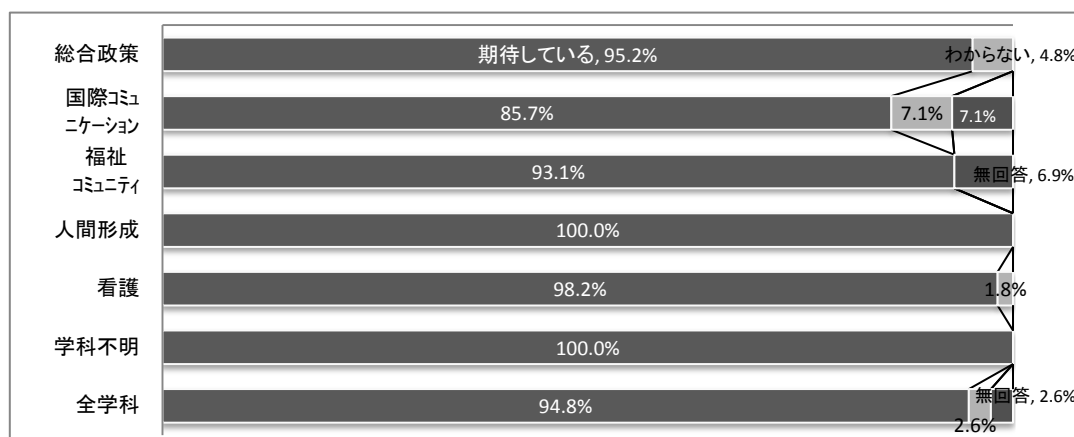
資料4-2 入学生保護者アンケート グラフ

本学の教育や運営に関する以下の事項についてお答えください

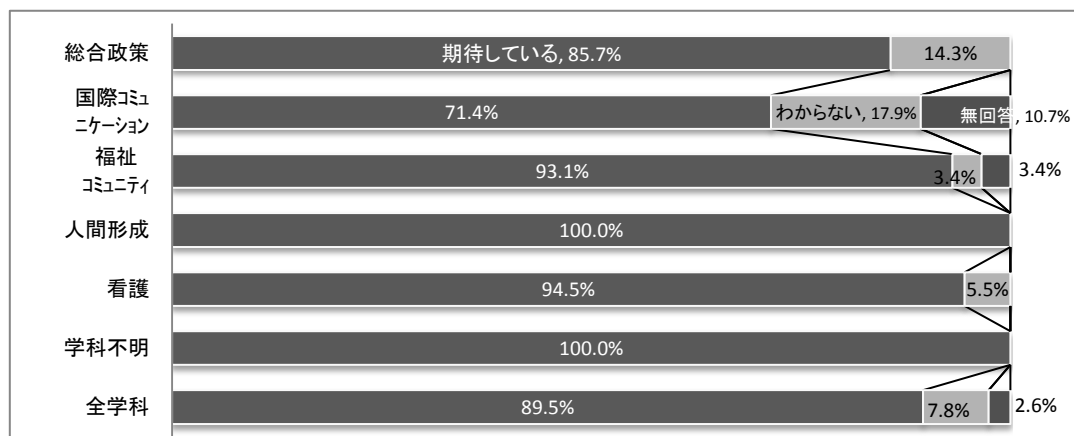
1. 一般教養(教養)の教育の充実



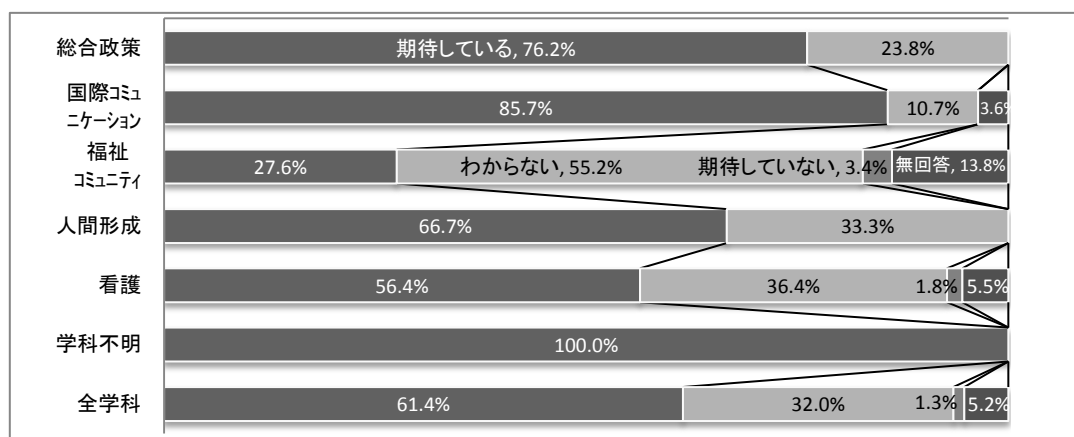
2. 専門分野の教育の充実



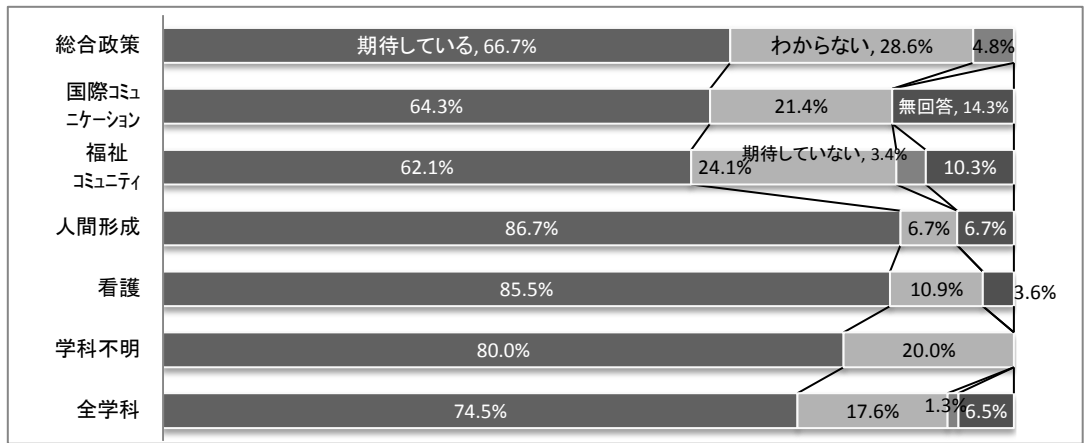
3. 人間関係形成・人格形成のための教育の充実



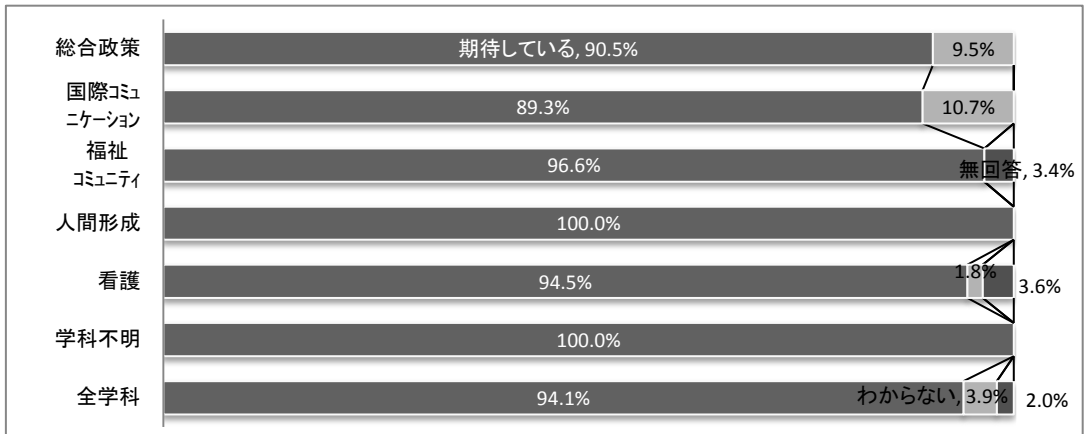
4. 国際交流・留学制度の充実



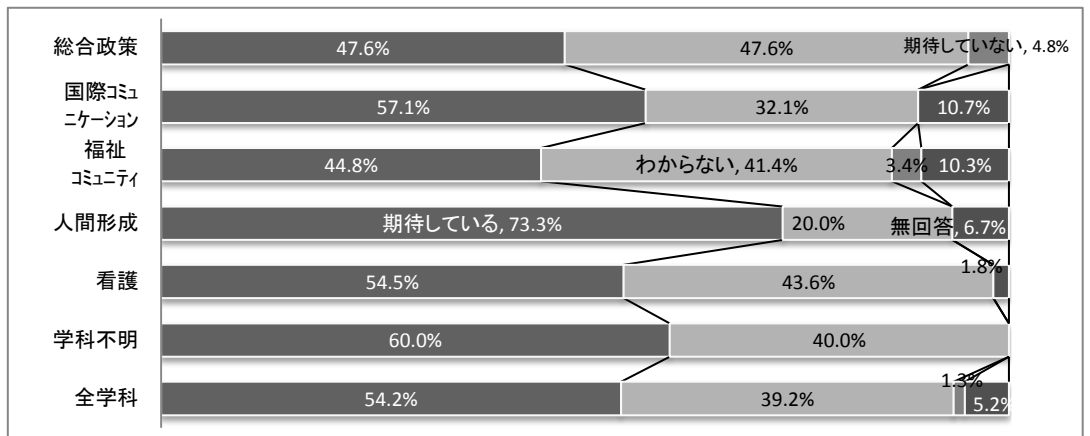
5. 教育施設・設備の充実



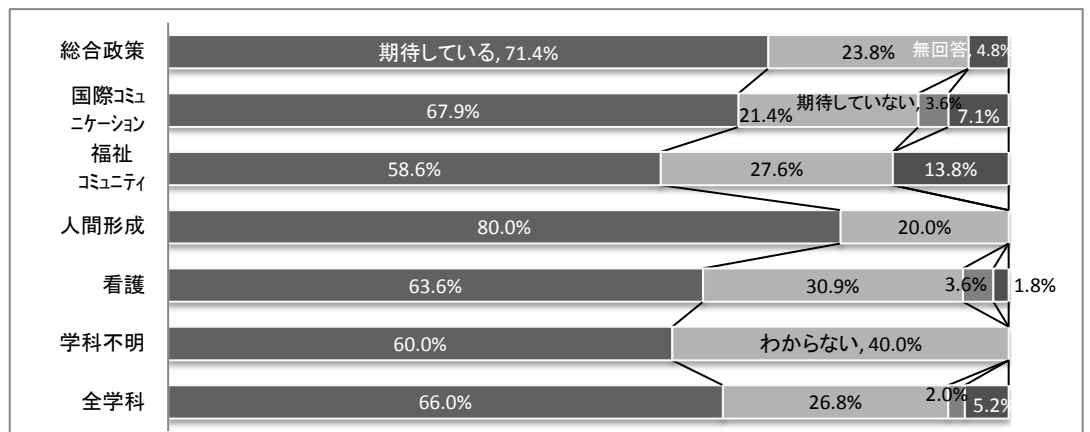
6. 就職・進学指導の充実



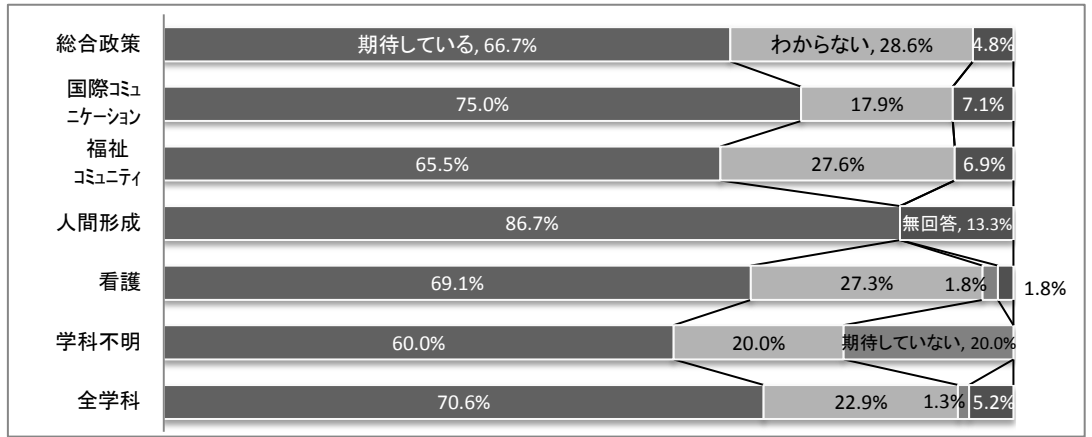
7. リカレント教育 (社会人の再教育) の充実



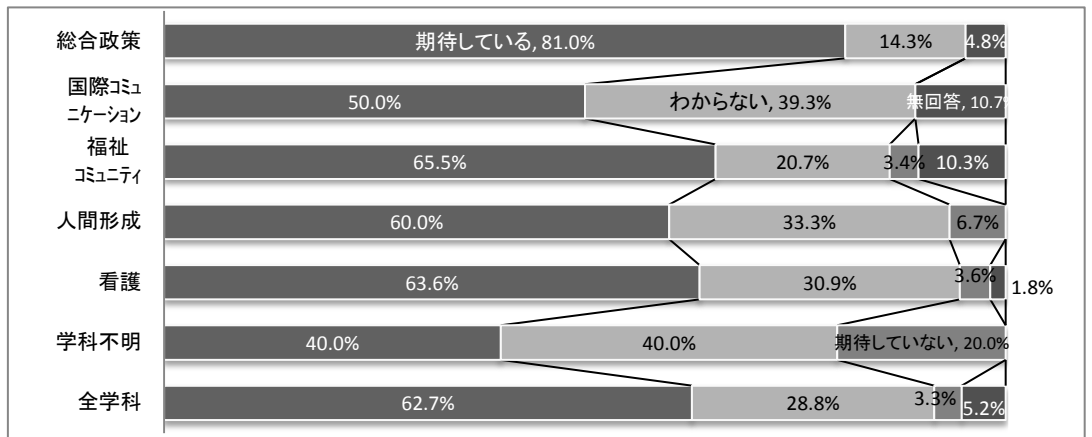
8. 授業料減免制度の充実



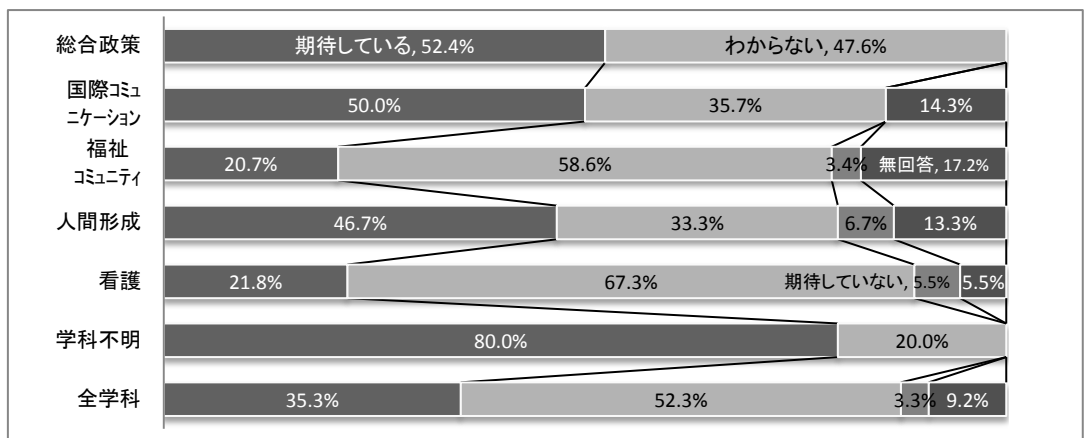
9. 大学独自の
奨学金制度の充実



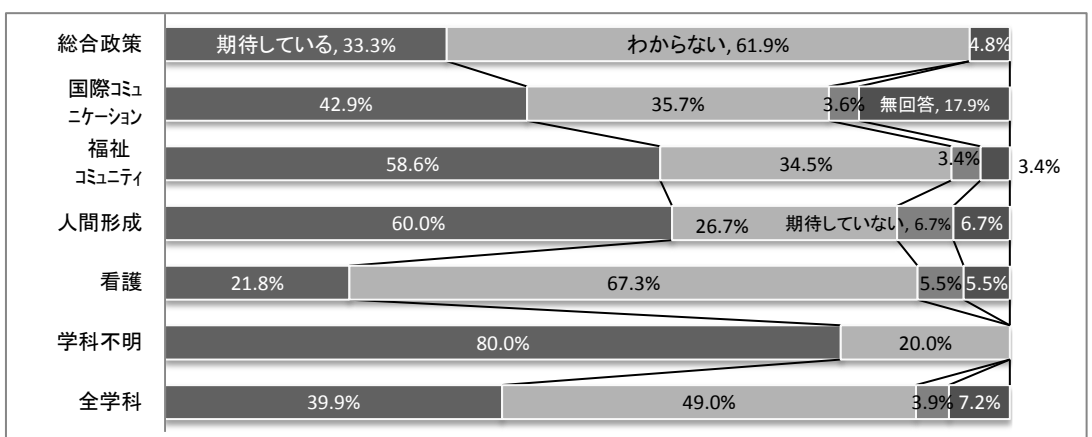
10. 成績通知の充実



11. 国際政策学部系の
大学院の設置



12. 人間福祉学部系の
大学院の設置



資料5 卒業生保護者アンケート調査結果

II 本学の教育や運営に関して、どのように感じられたかお答えください。

人(%)

	回答	学科					
		総合政策	国際 コミュニケーション	福祉コミュニティ	人間形成	看護	全学科
●全体的な量と質への満足度							
1. 一般教養(教養)の 教育の充実	期待している	8(88.9%)	6(85.7%)	14(70.0%)	4(66.7%)	21(60.0%)	53(68.8%)
	わからない	0	1(14.3%)	6(30.0%)	2(33.3%)	12(34.3%)	21(27.3%)
	期待していない	0	0	0	0	0	0
	無回答	1(11.1%)	0	0	0	2(5.7%)	3(3.9%)
2. 専門分野の教育の 充実	期待している	8(88.9%)	5(71.4%)	17(85.0%)	6(100%)	27(77.1%)	63(81.8%)
	わからない	0	2(28.6%)	3(15.0%)	0	7(20.0%)	12(15.6%)
	期待していない	0	0	0	0	0	0
	無回答	1(11.1%)	0	0	0	1(2.9%)	2(2.6%)
3. 人間関係形成・ 人格形成のための 教育の充実	期待している	7(77.8%)	5(71.4%)	16(80.0%)	4(66.7%)	20(57.1%)	52(67.5%)
	わからない	0	2(28.6%)	3(15.0%)	2(33.3%)	12(34.3%)	19(24.7%)
	期待していない	1(11.1%)	0	1(5.0%)	0	0	2(2.6%)
	無回答	1(11.1%)	0	0	0	3(8.6%)	4(5.2%)
4. 国際交流・ 留学制度の充実	期待している	7(77.8%)	6(85.7%)	13(65.0%)	4(66.7%)	11(31.4%)	41(53.2%)
	わからない	1(11.1%)	1(14.3%)	6(30.0%)	2(33.3%)	20(57.1%)	30(39.0%)
	期待していない	0	0	0	0	1(2.9%)	1(1.3%)
	無回答	1(11.1%)	0	1(5.0%)	0	3(8.6%)	5(6.5%)
5. 教育施設・ 設備の充実	期待している	9(100%)	5(71.4%)	17(85.0%)	4(66.7%)	22(62.9%)	57(74.0%)
	わからない	0	1(14.3%)	3(15.0%)	2(33.3%)	11(31.4%)	17(22.1%)
	期待していない	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	1(14.3%)	0	0	2(5.7%)	3(3.9%)
6. 就職・進学指導の 充実	期待している	8(88.9%)	4(57.1%)	18(90.0%)	5(83.3%)	28(80.0%)	63(81.8%)
	わからない	1(11.1%)	3(42.9%)	1(5.0%)	1(16.7%)	4(11.4%)	10(13.0%)
	期待していない	0	0	1(5.0%)	0	0	1(1.3%)
	無回答	0	0	0	0	3(8.6%)	3(3.9%)
7. リカレント教育 (社会人の再教育)の 充実	期待している	4(44.4%)	5(71.4%)	16(80.0%)	3(50.0%)	8(22.9%)	36(46.8%)
	わからない	3(33.3%)	2(28.6%)	4(20.0%)	2(33.3%)	22(62.9%)	33(42.9%)
	期待していない	0	0	0	0	0	0
	無回答	2(22.2%)	0	0	1(16.7%)	5(14.3%)	8(10.4%)
8. 国際政策学部系の 大学院の設置	期待している	8(88.9%)	5(71.4%)	8(40.0%)	2(33.3%)	6(17.1%)	29(37.7%)
	わからない	0	2(28.6%)	11(55.0%)	4(66.7%)	22(62.9%)	39(50.6%)
	期待していない	0	0	0	0	0	0
	無回答	1(11.1%)	0	1(5.0%)	0	7(20.0%)	9(11.7%)
9. 人間福祉学部系の 大学院の設置	期待している	6(66.7%)	3(42.9%)	11(55.0%)	6(100%)	7(20.0%)	33(42.9%)
	わからない	1(11.1%)	3(42.9%)	9(45.0%)	0	21(60.0%)	34(44.2%)
	期待していない	0	0	0	0	0	0
	無回答	2(22.2%)	1(14.3%)	0	0	7(20.0%)	10(13.0%)
各質問項目合計(人)		9	7	20	6	35	77

資料6 同窓会(富桜会、白樹会)アンケート

本学の教育や運営に関する以下の事項に関してお答えください。

	回答	人(%)	
		富桜会	白樹会
1.一般教養(教養)の教育の充実	期待している	22(81.5%)	11(91.7%)
	分からない	5(18.5%)	1(8.3%)
	期待していない	0	0
2.専門分野の教育の充実	期待している	23(85.2%)	12(100%)
	分からない	4(14.8%)	0
	期待していない	0	0
3.人間関係形成・人格形成のための教育の充実	期待している	25(92.6%)	11(91.7%)
	分からない	2(7.4%)	1(8.3%)
	期待していない	0	0
4.国際交流・留学制度の充実	期待している	22(81.5%)	8(66.7%)
	分からない	5(18.5%)	3(25.0%)
	期待していない	0	1(8.3%)
5.教育施設・設備の充実	期待している	24(88.9%)	10(83.3%)
	分からない	3(11.1%)	2(16.7%)
	期待していない	0	0
6.就職・進学指導の充実	期待している	27(100%)	10(83.3%)
	分からない	0	2(16.7%)
	期待していない	0	0
7.リカレント教育(社会人の再教育)の充実	期待している	22(81.5%)	10(83.3%)
	分からない	4(14.8%)	1(8.3%)
	期待していない	0	1(8.3%)
	不明	1(3.7%)	0
8.国際政策学部系の大学院の設置	期待している	16(59.3%)	-
	分からない	9(33.3%)	-
	期待していない	2(7.4%)	-
9.人間福祉学部系の大学院の設置	期待している	18(66.7%)	-
	分からない	7(25.9%)	-
	期待していない	2(7.4%)	-
各質問項目合計(人)		27	12

資料7 就職先アンケート

I 山梨県立大学の卒業生について、下記の諸点に関してどのように評価なさいますか

人(%)

	回答	総合政策	国際 コミュニケーション	福祉コミュニティ	人間形成	看護	合計
1.専門的知識・技術	評価できる	0	0	1(50%)	1(50%)	3(42.9%)	5(33.3%)
	やや評価できる	1(100%)	3(100%)	1(50%)	1(50%)	2(28.6%)	8(53.3%)
	あまり評価できない	0	0	0	0	1(14.3%)	1(6.7%)
	評価できない	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	1(14.3%)	1(6.7%)
2.専門的知識・技術を用いた実践力・行動力	評価できる	0	1(33.3%)	2(100%)	1(50%)	1(14.3%)	5(33.3%)
	やや評価できる	1(100%)	2(66.7%)	0	1(50%)	4(57.1%)	8(53.3%)
	あまり評価できない	0	0	0	0	1(14.3%)	1(6.7%)
	評価できない	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	1(14.3%)	1(6.7%)
3.積極性・主体性	評価できる	1(100%)	2(66.7%)	2(100%)	1(50%)	2(28.6%)	8(53.3%)
	やや評価できる	0	0	0	1(50%)	3(42.9%)	4(26.7%)
	あまり評価できない	0	1(33.3%)	0	0	1(14.3%)	2(13.3%)
	評価できない	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	1(14.3%)	1(6.7%)
4.人間関係形成 (協調性・コミュニケーション・リーダーシップ)	評価できる	1(100%)	2(66.7%)	2(100%)	0	2(28.6%)	7(46.7%)
	やや評価できる	0	0	0	2(100%)	3(42.9%)	5(33.3%)
	あまり評価できない	0	1(33.3%)	0	0	1(14.3%)	2(13.3%)
	評価できない	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	1(14.3%)	1(6.7%)
5.豊かな教養	評価できる	1(100%)	1(33.3%)	2(100%)	2(100%)	2(28.6%)	8(53.3%)
	やや評価できる	0	2(66.7%)	0	0	3(42.9%)	5(33.3%)
	あまり評価できない	0	0	0	0	1(14.3%)	1(6.7%)
	評価できない	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	1(14.3%)	1(6.7%)
6.探究心・向上心	評価できる	1(100%)	2(66.7%)	2(100%)	2(100%)	3(42.9%)	10(66.7%)
	やや評価できる	0	1(33.3%)	0	0	3(42.9%)	4(26.7%)
	あまり評価できない	0	0	0	0	0	0
	評価できない	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	1(14.3%)	1(6.7%)
7.仕事に向かう姿勢	評価できる	—	—	—	—	2(28.6%)	2(28.6%)
	やや評価できる	—	—	—	—	4(57.1%)	4(57.1%)
	あまり評価できない	—	—	—	—	0	0
	評価できない	—	—	—	—	0	0
	無回答	—	—	—	—	1(14.3%)	1(14.3%)
8.看護実践力の成長度	評価できる	—	—	—	—	2(28.6%)	2(28.6%)
	やや評価できる	—	—	—	—	4(57.1%)	4(57.1%)
	あまり評価できない	—	—	—	—	0	0
	評価できない	—	—	—	—	0	0
	無回答	—	—	—	—	1(14.3%)	1(14.3%)
9.貴施設での貢献度	評価できる	—	—	—	—	2(28.6%)	2(28.6%)
	やや評価できる	—	—	—	—	4(57.1%)	4(57.1%)
	あまり評価できない	—	—	—	—	0	0
	評価できない	—	—	—	—	0	0
	無回答	—	—	—	—	1(14.3%)	1(14.3%)

Ⅱ 今後の山梨県立大学の教育において、下記の諸点に関してどの程度の期待感をお持ちですか

1.専門的知識の教育の充実	期待している	0	1(33.3%)	1(50%)	2(100%)	6(85.7%)	10(66.7%)
	やや期待している	1(100%)	1(33.3%)	1(50%)	0	1(14.3%)	4(26.7%)
	あまり期待していない	0	1(33.3%)	0	0	0	1(6.7%)
	期待していない	0	0	0	0	0	0
2.実践能力向上のための教育の充実	期待している	1(100%)	1(33.3%)	2(100%)	1(50%)	6(85.7%)	11(73.3%)
	やや期待している	0	1(33.3%)	0	1(50%)	1(14.3%)	3(20.0%)
	あまり期待していない	0	1(33.3%)	0	0	0	1(6.7%)
	期待していない	0	0	0	0	0	0
3.人間関係形成やコミュニケーション能力向上のための教育の充実	期待している	1(100%)	2(66.7%)	2(100%)	1(50%)	6(85.7%)	12(80.0%)
	やや期待している	0	1(33.3%)	0	1(50%)	1(14.3%)	3(20.0%)
	あまり期待していない	0	0	0	0	0	0
	期待していない	0	0	0	0	0	0
4.問題解決力・分析力を養うための教育の充実	期待している	1(100%)	2(66.7%)	2(100%)	2(100%)	6(85.7%)	13(86.7%)
	やや期待している	0	1(33.3%)	0	0	1(14.3%)	2(13.3%)
	あまり期待していない	0	0	0	0	0	0
	期待していない	0	0	0	0	0	0
5.自立性を養うための教育の充実	期待している	1(100%)	2(66.7%)	2(100%)	1(50%)	6(85.7%)	12(80.0%)
	やや期待している	0	1(33.3%)	0	1(50%)	1(14.3%)	3(20.0%)
	あまり期待していない	0	0	0	0	0	0
	期待していない	0	0	0	0	0	0
6.豊かな教養を身に付け、総合的判断力を養うための教育の充実	期待している	1(100%)	3(100%)	2(100%)	2(100%)	7(100%)	15(100%)
	やや期待している	0	0	0	0	0	0
	あまり期待していない	0	0	0	0	0	0
	期待していない	0	0	0	0	0	0
各質問項目合計(人)		1	3	2	2	7	15

看護学研究科学生アンケート結果

N=15

質 問 項 目	回 答			
1. 大学院の目的等について	は い	いいえ		
1) 大学院の目的について、大学案内・シラバス：HP等で、今までに読んだことがありますか。	15 (100%)	0		
2) 修了要件について知っていますか。	14 (93%)	1 (7%)		
3) 成績評価が適切に行われていると思いますか。	8 (53%)	6(40%)	その他：成績評価の報告がされていない1(7%)	
	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
2. オリエンテーションやガイダンスについて 学年当初に実施されるオリエンテーションやガイダンスは、あなたの履修に役立ちましたか。	7(47%)	7(47%)	1(7%)	0
3. 学習支援について 学習を進める上で、研究指導教員や科目担当教員からの相談・助言が必要な時に得られたと思いますか。	3(20%)	8(53%)	4(27%)	0
4. 自主的学習環境について 自主学習するスペースは十分だと思いますか。	10(67%)	3 (20%)	2(13%)	0
5. コンピュータの利用環境について	満足 している	やや満足 している	あまり満足 していない	満足してい ない
	4(27%)	7(47%)	3(20%)	1(7%)
6. 生活支援体制について 生活支援（健康・生活・進路・各種ハラスメント）等に関する学生相談・助言の体制が充実していると思いますか。	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
	2(13%)	9(60%)	2(13%)	2(13%)
7. 施設・設備について あなたは学生便覧、各施設・設備の利用案内等を通して、本学の施設・設備の運用・管理について知っていますか。	知って いる	やや知って いる	あまり 知らない	知らない
	3(20%)	10(67%)	2(13%)	0
8. 講義室の設備（AV、プロジェクタ、実習設備等）について	満足 している	やや満足 している	あまり満足 していない	満足してい ない
	3(20%)	8(53%)	3(20%)	1(7%)
9. ICT関係施設、設備、ネットワーク環境について	4(27%)	9(60%)	2(13%)	0
10. 大学院看護学研究科（博士課程）への設置・進学について	あ る	ややある	あまりない	な い
1) 看護系大学院（博士課程）への進学に関心がありますか。	4(27%)	2(13%)	7(47%)	2(13%)
2) 本学大学院（博士課程）の設置に関心がありますか。	5(33%)	2(13%)	6(40%)	2(13%)

大学院看護学研究科担当教職員アンケート結果（平成24年1月）
 （回答率 全教員33名中17名 51.5%）

質 問 事 項		回 答			
		はい	いいえ	無回答	
1	大学院の目的について、大学案内・シラバス・HP 等で、今までに読んだことがありますか。	16 (94%)	1 (6%)	0	0
2	あなたは学生便覧、各施設・設備の利用案内等を通して、本学の施設・設備の運用・管理について知っていますか。	13 (76%)	3 (18%)	1 (6%)	0
3	個人の意見を大学院の運営に反映させる仕組みがあると思いますか。	10 (59%)	7 (41%)	0	0
4	大学院運営に関する個人の意見を会議等では出せていると思いますか。(教員に限る)	10 (59%)	7 (41%)	0	0
5	他の教職員の活動状況を知る機会がありますか。	5 (29%)	12 (71%)	0	0
6	他の大学院委員会の活動状況を知る機会がありますか。	5 (29%)	12 (71%)	0	0
		そう思う	やや そう思う	あまりそ う思わな い	そう思 わない
7	24年度入試に関しアドミッションポリシーに沿った入試を実施していると思いますか。	5 (29%)	10 (59%)	2 (12%)	0

発行：平成24年6月28日
発行者：平成23・24年度山梨県立大学自己点検評価委員会
委員長：伊藤洋
副委員長：遠藤みどり、斉藤秀子
編集：自己評価アンケート実施専門部会
 部会長 戸田徹子
 部会員 高野牧子、名取初美、流石ゆり子
連絡先：〒400-0035 山梨県甲府市飯田5丁目11-1
 TEL055-224-5261 FAX055-228-6819
担当：経営企画課
